

Docket No. 205006US2/vdm



#13

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Yusuke KINOSHITA, et al.

GAU:

SERIAL NO: 09/814,720

EXAMINER:

FILED: March 23, 2001

FOR: METHOD FOR PACKET COMMUNICATION AND COMPUTER PROGRAM STORED ON COMPUTER READABLE MEDIUM

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number [US App No], filed [US App Dt], is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2000-086321	March 27, 2000

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
(B) Application Serial No.(s)
 - ☐ are submitted herewith
 - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Marvin J. Spivak
Registration No. 24,913

Surinder Sachar
Registration No. 34,423



22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 10/98)



09/814/720

本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 3月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-086321

出 願 人

Applicant(s):

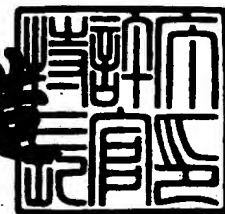
三菱電機株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3023774

【書類名】 特許願

【整理番号】 522398JP01

【提出日】 平成12年 3月27日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社
社内

【氏名】 木下 裕介

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社
社内

【氏名】 清水 桂一

【特許出願人】

【識別番号】 000006013

【氏名又は名称】 三菱電機株式会社

【代理人】

【識別番号】 100102439

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮田 金雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103894

【弁理士】

【氏名又は名称】 家入 健

【選任した代理人】

【識別番号】 100092462

【弁理士】

【氏名又は名称】 高瀬 彌平

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011394

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704079

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信方法、通信システム、通信装置、及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 異なるネットワーク間で移動可能な端末が、前記いずれのネットワーク間でパケット送信を行う際にも、該端末が送出するパケットの送信元アドレスを同一のグローバルアドレスに変更することを特徴とする通信方法。

【請求項 2】 端末から送出されるパケットの送信元アドレスをグローバルアドレスに変更する第 1 のアドレス変更手段を第 1 のネットワークに備え、とともに、第 2 のネットワークに第 2 のアドレス変更手段を備え、第 2 のアドレス変更手段は、第 1 のネットワークから第 2 のネットワークに前記端末が移動した場合に、前記端末から送出されるパケットの送信元アドレスを、前記グローバルアドレスと同一のアドレスに変更することを特徴とする通信方法。

【請求項 3】 第 2 のアドレス変更手段は、前記端末から第 2 のネットワークのモバイル IP エージェントに対して登録要求が送信されたことを検出し、その検出後に第 1 のアドレス変更手段から前記グローバルアドレスを取得することを特徴とする請求項 2 に記載の通信方法。

【請求項 4】 第 2 のアドレス変更手段は、第 1 のネットワークのモバイル IP エージェントから第 2 のネットワークのモバイル IP エージェントに対して登録応答が送信されたことを検出し、その検出後に第 1 のアドレス変更手段から前記グローバルアドレスを取得することを特徴とする請求項 2 に記載の通信方法。

【請求項 5】 第 2 のアドレス変更手段は、第 2 のネットワークのモバイル IP エージェントから第 1 のネットワークのモバイル IP エージェントに対して送信されるパケットに、前記グローバルアドレスを要求するコードを付加することを特徴とする請求項 2 に記載の通信方法。

【請求項 6】 端末から送出されるパケットの送信元アドレスをプライベートアドレスからグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段を第 1 のネットワークに備え、前記端末は、第 1 のネットワーク内では、前記プライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第 2 のネットワーク内では、前

記グローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出することを特徴とする通信方法。

【請求項 7】 前記端末は、第 2 のネットワークのモバイル IP エージェントへ送信する登録要求のパケットに、前記グローバルアドレスを要求するコードを付加してなるパケットを送出することにより、第 1 のネットワークの前記アドレス変更手段に対して前記グローバルアドレスを要求することを特徴とする請求項 6 に記載の端末の通信方法。

【請求項 8】 端末から送出されるパケットの送信元アドレスを第 1 のグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段を第 1 のネットワークに備え、第 2 のネットワークから第 1 のネットワークに、第 2 のグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する端末が移動してきた場合に、第 1 のネットワークの前記アドレス変更手段は、前記移動してきた端末から送出されるパケットについては、その送信元アドレスを第 1 のグローバルアドレスに変更しないことを特徴とする通信方法。

【請求項 9】 第 1 のネットワーク内の端末から、第 1 のネットワーク内における該端末のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを受信する第 1 の受信手段と、

この第 1 の受信手段により受信された前記パケットの送信元アドレスを所定のグローバルアドレスに変更する第 1 のアドレス変更手段と、

この第 1 のアドレス変更手段により送信元アドレスが変更された前記パケットを、第 1 のネットワーク外へ送出する第 1 の送出手段と、

前記端末が第 2 のネットワーク内に移動した場合に、該端末から前記プライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを受信する第 2 の受信手段と、

この第 2 の受信手段により受信された前記パケットの送信元アドレスを第 1 のアドレス変更手段で用いられていた前記グローバルアドレスと同一のアドレスに変更する第 2 のアドレス変更手段と、

この第 2 のアドレス変更手段により送信元アドレスが変更された前記パケットを、第 2 のネットワーク外へ送出する第 2 の送出手段とを備えたことを特徴とする通信システム。

【請求項 1 0】 第 1 のネットワーク内の第 1 の端末から、第 1 のネットワーク内における該端末のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを受信する受信手段と、

この受信されたパケットの送信元アドレスを所定のグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段と、

この送信元アドレスが変更された前記パケットを、第 1 のネットワーク外へ送出する送出手段と、

第 1 の端末が第 2 のネットワーク内へ移動した場合に、第 2 のネットワーク内の第 2 の端末に対して前記アドレス変更手段で用いられた前記グローバルアドレスを通知する通知手段とを備えたことを特徴とする通信システム。

【請求項 1 1】 第 1 のネットワーク内から第 2 のネットワーク内に、第 1 のネットワーク内におけるプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する第 1 の端末が移動してきた場合に、第 1 のネットワーク内の第 2 の端末から前記プライベートアドレスに対応づけられたグローバルアドレスを受信する第 1 の受信手段と、

前記移動してきた第 1 の端末から送出される前記パケットを受信する第 2 の受信手段と、

この受信された前記パケットの送信元アドレスを前記受信したグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段と、

この送信元アドレスが変更された前記パケットを、第 2 のネットワーク外へ送出する送出手段とを備えたことを特徴とする通信システム。

【請求項 1 2】 第 1 のネットワーク内では、所定のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第 2 のネットワーク内では、第 1 のネットワークにおいて前記プライベートアドレスに対応づけられていたグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出することを特徴とする通信装置。

【請求項 1 3】 第 1 のネットワーク内の端末が送出したパケットを受信する受信手段と、

この受信したパケットの送信元アドレスを第 1 のグローバルアドレスに変更す

るアドレス変更手段と、

この送信元アドレスが変更されたパケットを第 1 のネットワーク外へ送出する
送出手段とを備え、

前記アドレス変更手段は、第 2 のネットワーク内から第 1 のネットワーク内に
、第 2 のネットワーク内において第 2 のグローバルアドレスを送信元アドレスと
したパケットを送出していた端末が移動してきた場合に、この端末から送出され
るパケットについては、その送信元アドレスを第 1 のグローバルアドレスに変更
しないことを特徴とする通信システム。

【請求項 1 4】 第 1 のネットワーク内の第 1 の端末から、第 1 のネットワ
ーク内におけるプライベートアドレスを送信元アドレスとして含むデータを受信
する受信処理と、

この受信されたデータの送信元アドレスを所定のグローバルアドレスに変更す
る変更処理と、

この送信元アドレスが変更された前記データを、第 1 のネットワーク外へ送出
する送出手段と、

第 1 の端末が第 1 のネットワークと異なる第 2 のネットワーク内へ移動した場
合に、第 2 のネットワーク内の第 2 の端末に対して前記変更手段で用いられた前
記グローバルアドレスを通知する通知処理とをコンピュータに実行させるプログ
ラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 1 5】 第 1 のネットワークから第 1 のネットワークと異なる第 2
のネットワークに、第 1 のネットワークにおけるプライベートアドレスを送信元
アドレスとして含んだデータを送出する第 1 の端末が移動してきた場合に、第 1
のネットワーク内の第 2 の端末から前記プライベートアドレスに対応づけられた
グローバルアドレスを受信する第 1 の受信処理と、

前記移動してきた第 1 の端末から送出される前記データを受信する第 2 の受信
処理と、

この受信されたデータの送信元アドレスを前記受信したグローバルアドレスに
変更する変更処理と、

この送信元アドレスが変更された前記データを、I P ネットワークへ送出する

送出処理とをコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 1 6】 第 1 のネットワーク内では、所定のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第 2 のネットワーク内では、第 1 のネットワークのアドレス変更手段において前記プライベートアドレスに対応づけられていたグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する処理をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 1 7】 第 1 のネットワーク内の端末から送出されるパケットの送信元アドレスを、プライベートアドレスから第 2 のグローバルアドレスに変更するとともに、第 1 のグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する端末が、第 2 のネットワークから移動してきた場合に、前記端末から送出されるパケットについては、その送信元アドレスを第 2 のグローバルアドレスに変更しない処理

をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は異なるネットワーク間を端末が移動した場合のパケット転送方法に関し、特に、プライベートネットワークとグローバルネットワークを接続するためのアドレス変換機能（Network Address Translation：以下、N A T と称す）を有するネットワーク間におけるパケット転送方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年、I P 通信（I P : Internet Protocol）が広く利用されている。以下、I P ネットワーク、I P アドレス、モバイル I P、N A T について順次説明する。I P ネットワークはサブネットワークと呼ばれる複数の閉域ネットワーク（Local Area Network）に分割して管理されている。また、各端末（Node）には I P アド

レスが割り当てられており、この I P アドレスはサブネットワークを識別するための番号を表すネットワーク部と、サブネットワーク内における端末の整理番号を表すホスト部とから構成される。

【 0 0 0 3 】

I P 通信では、上述の I P アドレスを送信元アドレス、宛先アドレスとして送信データに含めることによりルーティングを行う。特に、各サブネットワークに設けられたルータ (router) は、宛先アドレスのネットワーク部を参照することにより各パケットをルーティングする。さらに詳しくは、ルータは I P ネットワーク上に存在するパケットを受信し、その宛先アドレスのネットワーク部が自己の管理するサブネットワーク番号と一致するかどうか確認する。一致した場合は、当該パケットを自己のサブネットワーク上へ送出する。各端末はこのサブネットワーク上に送出されたパケットのうち、宛先アドレスが自己の I P アドレスであるものを選択して取り込む。なお、ルータはソフトウェア的にゲートウェイと呼ばれることもある。

【 0 0 0 4 】

I P ネットワークは以上のように構成されているので、特定の I P アドレスを割り当てられた端末が他のサブネットワーク内へ移動した場合、その端末は自己宛てのパケットを受信することができなくなる。すなわち、移動先のサブネットワークを管理するルータは、その端末宛てのパケットを管理ネットワーク内へ取り込まない。

【 0 0 0 5 】

そこで、このような問題を解決すべくモバイル I P (Mobile IP : RFC2002, " I P Mobility Support" , RFC:Request For Comment) が提案された。このモバイル I P は IETF (Internet Engineering Task Force) により提案されたものであり、異なるサブネットワークに渡って端末が移動した場合であっても、該端末に割り当てられている I P アドレスを変更することなく該端末へ I P パケットを転送する技術である。

【 0 0 0 6 】

図 1 6 は、モバイル I P のネットワーク概念を例示する構成図である。図にお

いて、10はサブネットワーク間を移動する移動端末 (Mobile Node、図中MNと略す)、20は移動端末10が本来属するサブネットワークであるところのホームネットワーク (Home Network)、16は移動端末10のサブネットワーク間の移動を管理するホームエージェント手段 (Home Agent、以下HAと称す)、14はHA16を備えたルータ (Router)、21は移動端末10の移動先のサブネットワークであるところのフォーリンネットワーク (Foreign Network)、17はフォーリンネットワーク21内に移動してきた移動端末10を管理するフォーリンエージェント手段 (Foreign Agent、以下FAと称す)、15はFA17を備えたルータ、11は移動端末10と通信する相手端末 (Correspondent Node、図中CNと略す)、22はホームネットワーク20およびフォーリンネットワーク21に接続されるインターネット (Internet) などのIPネットワークである。

【0007】

移動端末10がフォーリンネットワーク21に移動した場合を例にとり、モバイルIPの動作について説明する。なお、移動端末10には、IPアドレスがハードウェア的又はソフトウェア的に予め設定されており、この移動端末10のIPアドレスはネットワーク部としてホームネットワーク20の識別番号を含み、ホスト部として該ホームネットワーク20内における移動端末10の識別番号を含むものとする。

【0008】

いま、相手端末11からIPネットワーク22上へ、移動端末10宛てのパケットが送出されたとする。このパケットの宛先アドレス、すなわち移動端末10のIPアドレスにはホームネットワーク20の識別番号が含まれるので、当該パケットは経路23を経て、ホームネットワーク20を管理するルータ14に取り込まれる。ルータ14が備えるHA16は、移動端末10がフォーリンネットワーク21に移動していることを予め認識しており、当該パケットをフォーリンネットワーク21を管理するルータ15へ転送する。ルータ15が備えるFA17は、転送されてきたパケットを自己が管理するサブネットワーク内、即ちフォーリンネットワーク21上へ送出する。移動端末10はこのフォーリンネットワー

ク 2 1 上に送出されたパケットを受信し、その宛先アドレスが自己のアドレスと一致することを確認した後、当該パケットを取り込む。

【 0 0 0 9 】

なお、H A 1 6 から F A 1 7 へのパケットの転送にはトンネリング技術が用いられる。トンネリング技術とは、宛先、送信元アドレスを含んだパケットに、新たな転送先、転送元アドレスを含むヘッダを付加して送信する技術である。転送元端末が当該ヘッダを付加する処理をカプセル化処理、転送先端末が当該ヘッダを取り外す処理をデカプセル化処理という。H A 1 6 から F A 1 7 へ転送する今回の場合は、転送先アドレスとして F A 1 7 を備えるルータ 1 5 の I P アドレスが、転送元アドレスとして H A 1 6 を備えるルータ 1 4 の I P アドレスがヘッダとして付加される。

【 0 0 1 0 】

次に移動端末 1 0 から相手端末 1 1 へパケットを送信する場合について説明する。移動端末 1 0 は、宛先、送信元アドレスとしてそれぞれ相手端末 1 1 の I P アドレス、自己の I P アドレス（即ち、ホームアドレス）を含んだパケットを生成する。移動端末 1 0 がフォーリンネットワーク 2 1 内に存在する場合、この生成されたパケットは経路 2 6、ルータ 1 5、経路 2 7 を経て相手端末 1 1 へ送信される。

【 0 0 1 1 】

このモバイル I P の動作について、さらに詳しく説明する。図 1 7 は、移動端末 1 0 がホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 へ移動した場合のモバイル I P の処理手順を例示するシーケンス図である。図において、1 0 0 0 ～ 1 0 0 2 は移動端末 1 0 がホームネットワーク 2 0 内に存在するときの処理、1 0 0 3 ～ 1 0 1 5 は移動端末 1 0 がフォーリンネットワーク 2 1 内に存在するときの処理である。

【 0 0 1 2 】

まず、移動端末 1 0 はエージェント広告（Agent Advertisement）を受信することにより、自己の位置するサブネットワークを認識する（処理 1 0 0 0 ～ 1 0 0 2）。図 1 8 はこのエージェント広告のフォーマットを例示する説明図である

。図示するように、エージェント広告にはそのサブネットワークを管理するエージェント端末（即ち、HAやFAを備える端末）のIPアドレス（Care of Address, 気付アドレス）が含まれる。なお、このエージェント広告は、ICMP(Internet Control Message Protocol)のルータディスカバリ(Router Discovery)を拡張したパケットであり、サブネットワーク内に同報通知(broadcast)されている。

【 0 0 1 3 】

次に、移動端末10はホームネットワーク20からフォーリンネットワーク21へ移動する(処理1003)。このフォーリンネットワーク21内においても、移動端末10はルータ15からエージェント広告を受け取ることにより、自己の位置するサブネットワークを認識する(処理1004)。移動端末10は、この処理1004により、自己の位置がホームネットワーク20からフォーリンネットワーク21へ移動したことを検出し、ルータ15のFA17に対して自己の存在を登録するように要求する(処理1005)。具体的には、図19に示すフォーマットのメッセージが移動端末10からルータ15へ登録要求メッセージとして送信される。図示するように登録要求メッセージには移動端末10のIPアドレス(Home Address)、移動端末10を管理するホームエージェントのIPアドレス(ここではルータ14のIPアドレス)、およびフォーリンエージェントのIPアドレス(Care of Address, ここではルータ15のIPアドレス)が含まれる。

【 0 0 1 4 】

移動端末10から登録要求メッセージを受けたFA17は、その内容を登録(記憶)した後、HA16へ該登録要求メッセージを転送する(処理1006)。この登録要求メッセージを受信したHA16は、移動端末10がフォーリンネットワーク21内においてもパケット通信を行えるようにその登録内容を登録(記憶)し、登録した旨をFA17に対して応答する(処理1007)。具体的には、図20に示すフォーマットのメッセージがルータ14からルータ15へ応答メッセージとして返信される。図のように、このメッセージには移動端末10のホームアドレスおよびホームエージェントのIPアドレス(ここでは、ルータ14

のIPアドレス)が含まれる。この応答メッセージを受信したFA17は、当該応答メッセージを移動端末10へ送信する。移動端末10はこの応答メッセージを受信することにより通信可能になったことを知る(処理1008)。

【0015】

次に、移動端末10と相手端末11との通信方法について図17を用いて説明する。移動端末10は、宛先アドレスが相手端末11のIPアドレスAであり、送信元アドレスが自己のIPアドレスBであるパケットデータ(Packet data)を生成し、そのパケットをフォーリンネットワーク21上へ送出する(処理1009)。このパケットは、ルータ15を介してIPネットワーク22上の相手端末11へ送信される(処理1010)。相手端末11がこの受信パケットに対して返信する場合、すなわち移動端末10へ返信する場合、相手端末11は、受信したパケットの送信元アドレスであるアドレスAを宛先アドレスとし、自己のIPアドレスBを送信元アドレスとしたパケットを、IPネットワーク22上へ送出する(処理1011)。

【0016】

このようにして送信されたパケットは、その宛先アドレスAのネットワーク部にホームネットワーク20の識別番号を含むため、ルータ14にいったん取り込まれる。ルータ14のホームエージェント16は、移動端末10がフォーリンネットワーク21に移動していることを既に認識しており、この受信パケットをカプセル化して、ルータ15へトンネリング転送する(処理1012、処理1013)。さらに詳しくは、宛先アドレスをルータ15のIPアドレスDとするとともに送信元アドレスをルータ14のIPアドレスCとする新たなヘッダを、受信したパケットに付加してIPネットワーク22へ送出する。ルータ15は、このトンネリング転送されてきたカプセル化パケットを受信して、そのパケットをデカプセル化する(処理1014)。なお、デカプセル化して得られたパケットの宛先・送信元アドレスはカプセル化前と変わらず、それぞれ移動端末10のIPアドレスA、相手端末11のIPアドレスBである。このデカプセル化されたパケットはルータ15からフォーリンネットワーク21上へ送出され、移動端末10によって受信される。以上のようにして、フォーリンネットワーク21に存在

する移動端末 1 0 と I P ネットワーク上の相手端末 1 1 との間の通信が可能になる。

【 0 0 1 7 】

ところで近年は I P アドレス資源の有効利用の必要性もあり、企業内においてプライベートアドレス、N A T、I P マスカレードなどの技術を用いたプライベートネットワークを構築するようになってきた。以下、グローバルアドレス、プライベートアドレスおよび N A T について説明する。

【 0 0 1 8 】

特定のネットワーク内において利用されるアドレスをグローバルアドレスとすると、そのネットワークに属する特定のサブネットワーク内のみにおいて利用できるアドレスをプライベートアドレスという。そして、プライベートアドレスを用いた端末と、グローバルアドレスを用いた端末との間でパケット通信を行う場合に、それらの端末の間に介在して、各パケットの宛先、送信元アドレスをプライベートアドレスからグローバルアドレスへ、又はグローバルアドレスからプライベートアドレスへ変換するものを N A T という。N A T においては、プライベートアドレスとグローバルアドレスは一対一で対応づけられる。

【 0 0 1 9 】

また、I P マスカレード (IP masquerade) は、この N A T を拡張したものである。I P マスカレードとは、TCP (transmission control) や UDP (user datagram protocol) のポート番号をも含めてアドレスとみなすことにより、1 つのグローバルアドレスに対して複数のプライベートアドレスを対応づける技術である。以下、プライベートアドレスを用いたネットワークをプライベートネットワーク、グローバルアドレスを用いたネットワークをグローバルネットワークと称することとする。

【 0 0 2 0 】

【発明が解決しようとする課題】

以上、モバイル I P や N A T の技術について説明してきた。しかしながら、移動端末がプライベートネットワークからプライベートネットワークへ移動した場合、または、プライベートネットワークからグローバルネットワークへ移動した

場合、または、グローバルネットワークからプライベートネットワークへ移動した場合には、相手端末の設定によっては通信が途絶してしまうことがある。

【 0 0 2 1 】

例えば、移動端末がプライベートネットワークからプライベートネットワークへ移動した場合、すなわち、ホームネットワーク、フォーリンネットワークともにプライベートネットワークである場合、移動端末がホームネットワーク内に存在するときには、ホームネットワーク内のNATによりアドレス変換がなされ、移動端末がフォーリンネットワーク内に移動した場合には、そのフォーリンネットワーク内の別のNATによりアドレス変換がなされる。そして、ホームネットワーク内のNATにおいて変換されたIPアドレスと、フォーリンネットワーク内のNATにおいて変換されたIPアドレスとは、同じアドレスにはならない。

【 0 0 2 2 】

よって、移動元のプライベートネットワークのNATにて変換されたIPアドレスと、移動先のプライベートネットワークのNATにて変換されたIPアドレスとが異なるため、相手端末がそれぞれの packets を異なる移動端末からの packets として判断してしまい、通信が途絶えることがあった。

【 0 0 2 3 】

本発明はこのような問題点を解決するためになされたものであり、移動端末がNATを用いたネットワーク間を移動しても、それにより通信が途絶しない通信方法、通信システム、通信装置、及び記録媒体を提供する。

【 0 0 2 4 】

【課題を解決するための手段】

この発明に係る通信方法においては、異なるネットワーク間で移動可能な端末が、前記いずれのネットワーク間で packets 送信を行う際にも、該端末が送出する packets の送信元アドレスを同一のグローバルアドレスに変更する。

【 0 0 2 5 】

また、この発明に係る通信方法においては、端末から送出される packets の送信元アドレスをグローバルアドレスに変更する第1のアドレス変更手段を第1のネットワークに備えるとともに、第2のネットワークに第2のアドレス変更手段

を備え、第2のアドレス変更手段は、第1のネットワークから第2のネットワークに前記端末が移動した場合に、前記端末から送出されるパケットの送信元アドレスを、前記グローバルアドレスと同一のアドレスに変更する。

【0026】

また、この発明に係る通信方法においては、第2のアドレス変更手段は、前記端末から第2のネットワークのモバイルIPエージェントに対して登録要求が送信されたことを検出し、その検出後に第1のアドレス変更手段から前記グローバルアドレスを取得する。

【0027】

また、この発明に係る通信方法においては、第2のアドレス変更手段は、第1のネットワークのモバイルIPエージェントから第2のネットワークのモバイルIPエージェントに対して登録応答が送信されたことを検出し、その検出後に第1のアドレス変更手段から前記グローバルアドレスを取得する。

【0028】

また、この発明に係る通信方法においては、第2のアドレス変更手段は、第2のネットワークのモバイルIPエージェントから第1のネットワークのモバイルIPエージェントに対して送信されるパケットに、前記グローバルアドレスを要求するコードを付加する。

【0029】

また、この発明に係る通信方法においては、端末から送出されるパケットの送信元アドレスをプライベートアドレスからグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段を第1のネットワークに備え、前記端末は、第1のネットワーク内では、前記プライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第2のネットワーク内では、前記グローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する。

【0030】

また、この発明に係る通信方法においては、前記端末は、第2のネットワークのモバイルIPエージェントへ送信する登録要求のパケットに、前記グローバルアドレスを要求するコードを付加してなるパケットを送出することにより、第1

のネットワークの前記アドレス変更手段に対して前記グローバルアドレスを要求する。

【 0 0 3 1 】

また、この発明に係る通信方法においては、端末から送出されるパケットの送信元アドレスを第1のグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段を第1のネットワークに備え、第2のネットワークから第1のネットワークに、第2のグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する端末が移動してきた場合に、第1のネットワークの前記アドレス変更手段は、前記移動してきた端末から送出されるパケットについては、その送信元アドレスを第1のグローバルアドレスに変更しない。

【 0 0 3 2 】

また、この発明に係る通信システムにおいては、第1のネットワーク内の端末から、第1のネットワーク内における該端末のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを受信する第1の受信手段と、この第1の受信手段により受信された前記パケットの送信元アドレスを所定のグローバルアドレスに変更する第1のアドレス変更手段と、この第1のアドレス変更手段により送信元アドレスが変更された前記パケットを、第1のネットワーク外へ送出する第1の送出手段と、前記端末が第2のネットワーク内に移動した場合に、該端末から前記プライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを受信する第2の受信手段と、この第2の受信手段により受信された前記パケットの送信元アドレスを第1のアドレス変更手段で用いられていた前記グローバルアドレスと同一のアドレスに変更する第2のアドレス変更手段と、この第2のアドレス変更手段により送信元アドレスが変更された前記パケットを、第2のネットワーク外へ送出する第2の送出手段とを備える。

【 0 0 3 3 】

また、この発明に係る通信システムにおいては、第1のネットワーク内の第1の端末から、第1のネットワーク内における該端末のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを受信する受信手段と、この受信されたパケットの送信元アドレスを所定のグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段と、こ

の送信元アドレスが変更された前記パケットを、第1のネットワーク外へ送出する送出手段と、第1の端末が第2のネットワーク内へ移動した場合に、第2のネットワーク内の第2の端末に対して前記アドレス変更手段で用いられた前記グローバルアドレスを通知する通知手段とを備える。

【0034】

また、この発明に係る通信システムにおいては、第1のネットワーク内から第2のネットワーク内に、第1のネットワーク内におけるプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する第1の端末が移動してきた場合に、第1のネットワーク内の第2の端末から前記プライベートアドレスに対応づけられたグローバルアドレスを受信する第1の受信手段と、前記移動してきた第1の端末から送出される前記パケットを受信する第2の受信手段と、この受信された前記パケットの送信元アドレスを前記受信したグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段と、この送信元アドレスが変更された前記パケットを、第2のネットワーク外へ送出する送出手段とを備える。

【0035】

また、この発明に係る通信装置においては、第1のネットワーク内では、所定のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第2のネットワーク内では、第1のネットワークにおいて前記プライベートアドレスに対応づけられていたグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する。

【0036】

また、この発明に係る通信システムにおいては、第1のネットワーク内の端末が送出したパケットを受信する受信手段と、この受信したパケットの送信元アドレスを第1のグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段と、この送信元アドレスが変更されたパケットを第1のネットワーク外へ送出する送出手段とを備え、前記アドレス変更手段は、第2のネットワーク内から第1のネットワーク内に、第2のネットワーク内において第2のグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出していた端末が移動してきた場合に、この端末から送出されるパケットについては、その送信元アドレスを第1のグローバルアドレスに変

更しない。

【0037】

また、この発明に係る記録媒体においては、第1のネットワーク内の第1の端末から、第1のネットワーク内におけるプライベートアドレスを送信元アドレスとして含むデータを受信する受信処理と、この受信されたデータの送信元アドレスを所定のグローバルアドレスに変更する変更処理と、この送信元アドレスが変更された前記データを、第1のネットワーク外へ送出する送出処理と、第1の端末が第1のネットワークと異なる第2のネットワーク内へ移動した場合に、第2のネットワーク内の第2の端末に対して前記変更手段で用いられた前記グローバルアドレスを通知する通知処理とをコンピュータに実行させるプログラムを記録する。

【0038】

また、この発明に係る記録媒体においては、第1のネットワークから第1のネットワークと異なる第2のネットワークに、第1のネットワークにおけるプライベートアドレスを送信元アドレスとして含んだデータを送出する第1の端末が移動してきた場合に、第1のネットワーク内の第2の端末から前記プライベートアドレスに対応づけられたグローバルアドレスを受信する第1の受信処理と、前記移動してきた第1の端末から送出される前記データを受信する第2の受信処理と、この受信されたデータの送信元アドレスを前記受信したグローバルアドレスに変更する変更処理と、この送信元アドレスが変更された前記データを、IPネットワークへ送出する送出処理とをコンピュータに実行させるプログラムを記録する。

【0039】

また、この発明に係る記録媒体においては、第1のネットワーク内では、所定のプライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第2のネットワーク内では、第1のネットワークのアドレス変更手段において前記プライベートアドレスに対応づけられていたグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する処理をコンピュータに実行させるプログラムを記録する。

【0040】

さらにまた、この発明に係る記録媒体においては、第1のネットワーク内の端末から送出されるパケットの送信元アドレスを、プライベートアドレスから第2のグローバルアドレスに変更するとともに、第1のグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する端末が、第2のネットワークから移動してきた場合に、前記端末から送出されるパケットについては、その送信元アドレスを第2のグローバルアドレスに変更しない処理をコンピュータに実行させるプログラムを記録する。

【 0 0 4 1 】

【発明の実施の形態】

実施の形態 1.

以下、この発明のパケット通信方式について図面を用いて説明する。図1は本実施の形態1のネットワーク構成およびそのパケット転送経路を例示する説明図である。図において従来と同一又は相当部分には同一符号を付して説明を省略する。図1において、ホームネットワーク20とフォーリンネットワーク21は共にプライベートアドレスを用いたプライベートネットワークである。ルータ12はHA16とNAT18の機能を有し、IPネットワーク22とホームネットワーク20とを接続する。ルータ13はFA17とNAT19の機能を有し、IPネットワーク22とフォーリンネットワーク21とを接続する。移動端末10のホームアドレスにはプライベートアドレスAが、相手端末11にはグローバルアドレスBが、ルータ12にはグローバルアドレスCが、ルータ13にはグローバルアドレスDがそれぞれ割り当てられている。

【 0 0 4 2 】

既に説明したように、NATは移動端末のプライベートアドレスに対して特定のグローバルアドレスを対応づける。以下、このような対応づけ関係をアドレス変換情報と称する。図3はNAT18のアドレス変換情報を例示する説明図である。図において、28は移動端末10にホームアドレスとして割り当てられたプライベートアドレス、29は該ホームアドレスの変換先アドレスとして割り当てられたグローバルアドレスである。ここでは、プライベートアドレスAに対してグローバルアドレスCが対応づけられている。すなわち、NAT18は移動端末

10から送信されてきたパケットの送信元アドレスをプライベートアドレスAからグローバルアドレスCに変換するとともに、相手端末11から送信されてきたパケットの宛先アドレスをグローバルアドレスCからプライベートアドレスAに変換する。

【0043】

本実施の形態1で特徴的なのは、フォーリンネットワーク21のNAT19が、ホームネットワーク20のNAT18と同一のアドレス変換情報を移動端末10について有する点である。さらに詳しくは、NAT18とNAT19は周期的に互いのアドレス変換情報を通知しあうことにより、移動端末10に対して同一のグローバルアドレスを対応づける。これにより、NAT18と同様に、NAT19は移動端末10から送信されてきたパケットの送信元アドレスをプライベートアドレスAからグローバルアドレスCに変換して相手端末11へ送信する。よって、ホームネットワーク20およびフォーリンネットワーク21それぞれから送信されるパケットの送信元アドレスを一致させることができるので、通信途中に送信元アドレスが変更されることに起因する通信の途絶を改善することができる。

【0044】

なお、アドレス変換情報の通知には、図4に示したフォーマットの packets が用いられる。図において、30はメッセージ種別であり、ここではアドレス変換情報を通知するためのメッセージである旨が示される。31は予約領域で未使用、32は通知するアドレス変換情報数、33は移動端末10のホームアドレス（ここではプライベートアドレス）、34は移動端末10のホームアドレスに対応づけられたグローバルアドレスである。ホームアドレス33とグローバルアドレス34は対になっており、この対の数がアドレス変換情報数32として用いられる。

【0045】

さらに詳しく説明する。図2は、図1に示すネットワーク構成において、移動端末10が相手端末11と通信を行いながら、ホームネットワーク20からフォーリンネットワーク21に移動した場合のシーケンスを例示する説明図である。

図において100～105は移動端末10がホームネットワーク20に存在する場合の処理であり、106～123は移動端末10がフォーリンネットワーク21へ移動した場合の処理である。図2の処理100では、ホームネットワーク20に存在する移動端末10が、相手端末11にデータを送信する為、ルータ12に対してパケットデータを送信する（処理100）。このパケットの宛先アドレスは相手端末11のグローバルアドレスBであり、送信元アドレスは移動端末10のプライベートアドレスAである。なお、図2では宛先アドレスB、送信元アドレスAであるパケットをData（B，A）と表記している。その他のパケットも同様にData（宛先アドレス，送信元アドレス）と表記する。

【0046】

この移動端末10からのパケットを受信したルータ12は、NAT18を用いて、このパケットの送信元アドレスをプライベートアドレスAからルータ12のグローバルアドレスCに変換する（処理101）。このアドレス変換されたパケットはIPネットワーク22上へ送出され、相手端末11により受信される（処理102）。相手端末11は、移動端末10にパケットを返信する為に、先ほどの処理102で受信したパケットの送信元アドレス宛てにパケットを送信する（処理103）。すなわち、宛先アドレスがルータ12のグローバルアドレスCであり、送信元アドレスが相手端末11のグローバルアドレスBであるパケットをIPネットワーク22上へ送出する。

【0047】

相手端末11からの返信パケットを受信したルータ12は、NAT18を用いてこのパケットの宛先アドレスを、ルータ12のグローバルアドレスCから移動端末10のプライベートアドレスAに変換する（処理104）。アドレス変換されたパケットはホームネットワーク20上へ送出され、移動端末10により受信される（処理105）。このようにして、ホームネットワーク20に存在する移動端末10とIPネットワーク上の相手端末11は、データの送受信を行うことができる。

【0048】

次に、上記のような通信中に、移動端末10がホームネットワーク20からフ

オーリンネットワーク 21 へ移動した場合について説明する。図 2 の処理 106 において、移動端末 10 がホームネットワーク 20 からフォーリンネットワーク 21 へ移動する（処理 106）。移動端末 10 はフォーリンネットワーク 21 内でエージェント広告を受信することにより、自己がフォーリンネットワーク 21 へ移動してきたことを検出する（処理 107）。なお、図 18 において既に説明したように、このエージェント広告には FA17 の IP アドレス（ここではルータ 13 の IP アドレス）が含まれる。

【0049】

移動を検出した移動端末 10 は、既に説明した図 19 に示すフォーマットで、FA17 に対して登録要求を行う（処理 108）。この登録要求を受けた FA17 は、移動端末 10 がフォーリンネットワーク 21 内に移動してきたことを知る。FA17 はさらに、HA16 に当該登録要求を転送する（処理 109）。HA16 はこの FA17 からの登録要求を受け、移動端末 10 がフォーリンネットワーク 21 へ移動したことを知る。そして、HA16 は、既に説明した図 20 に示すフォーマットで FA17 に登録応答を返信する（処理 110）。さらに、FA17 から移動端末 10 に対して登録応答が返され、登録が完了する（処理 111）。

【0050】

以上のような登録処理後、NAT18 と NAT19 は、移動端末 10 に関するアドレス変換情報を周期的に通知しあう。さらに詳しく説明する。NAT18 にはタイマが備えられており、このタイマは周期的にタイムアウトするようになっている（処理 112）。このタイムアウトに合わせ、NAT18 から NAT19 へ、既に説明した図 4 に示すフォーマットでアドレス変換情報が通知される（処理 113）。これにより、NAT19 は、ホームアドレス A を持つ移動端末 10 のパケットがホームネットワーク 20 においてアドレス C に変換されていたことを知る。同様に、NAT19 に備えられたタイマがタイムアウトすると（処理 114）、NAT19 から NAT18 へアドレス変換情報が通知される（処理 115）。

【0051】

次に、フォーリンネットワーク 21 内の移動端末 10 から相手端末 11 ヘデータが送信される場合について説明する。フォーリンネットワーク 21 に存在する移動端末 10 は、相手端末 11 ヘデータを送信する為に、ルータ 13 に対してパケットを送信する（処理 116）。この送信パケットの宛先アドレス、送信元アドレスはそれぞれ、相手端末 11 のグローバルアドレス B、移動端末 10 のプライベートアドレス A となっている。移動端末 10 からのパケットを受信したルータ 13 の NAT 19 は、処理 113 で受信したアドレス変換情報を用いて、当該パケットの送信元アドレスをプライベートアドレス A からグローバルアドレス C に変換する。このようにアドレス変換されたパケットは、宛先アドレス、送信元アドレスともにグローバルアドレスであるため、IP ネットワーク上へ送出することができるようになり、相手端末 11 まで伝送される（処理 118）。

【0052】

このパケットを受信した相手端末 11 は、移動端末 10 へパケットを返信する為に、先ほど受信したパケットの送信元アドレスであるグローバルアドレス C を宛先アドレスとしたパケットを送信する（処理 119）。相手端末 11 からのパケットを受信したルータ 12 は、このパケットの宛先アドレスを NAT 18 にてグローバルアドレス C からプライベートアドレス A に変換する（処理 120）。さらに HA 16 は、当該パケットに新たなヘッダを付加することにより、宛先アドレスをルータ 13 のグローバルアドレス D、送信元アドレスをルータ 12 のグローバルアドレス C とする（即ち、IP カプセル化する）。このようにカプセル化されたパケットは、ルータ 13 の FA 17 まで転送、すなわちトンネリングされる（処理 121）。トンネリングされてきたパケットを受信したルータ 13 の FA 17 は、そのパケットをデカプセル化し（処理 122）、移動端末 10 へ送信する（処理 123）。このようにして、フォーリンネットワーク 21 に存在する移動端末 10 と IP ネットワーク上の相手端末 11 は、通信することができる。

【0053】

以上のように、本実施の形態 1 においては、プライベートアドレスが割り当てられた移動端末が異なるサブネットワーク間を移動した場合であっても、フォー

リンネットワークにおける当該移動端末に対するプライベートアドレスとグローバルアドレスとの対応づけが、ホームネットワークにおける対応づけと同一であるので、通信途中に送信元アドレスが変更されることに起因する通信の途絶を改善することができる。

【0054】

実施の形態2.

実施の形態1では、図2の処理112～処理115において示したように、タイマのタイムアウトをトリガとしてアドレス変換情報を送信していた。本実施の形態2では、移動端末10からルータ13へ送信される登録要求をトリガとして、NAT19からNAT18へアドレス変換情報の要求メッセージが送信されるようにする。図5は、図1に示すネットワーク構成において、移動端末10からの登録要求をトリガとして、ルータ13のNAT19がルータ12のNAT18よりアドレス変換情報を取得するシーケンスを例示する説明図である。図において、200～207は各処理である。

【0055】

図5の処理200において、移動端末10がホームネットワーク20からフォーリンネットワーク21へ移動する（処理200）。移動端末10はエージェント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク21へ移動したことを検出する（処理201）。移動を検出した移動端末10は、図19に示したフォーマットを用いて、FA17に対して登録要求を行う（処理202）。この登録要求の受信をトリガとして、ルータ13のNAT19はルータ12のNAT18に対して移動端末10についてのアドレス変換情報を要求する（処理203）。図6は、このアドレス変換情報要求としてNAT18に送信されるメッセージのフォーマットを例示する説明図である。40はメッセージ種別であり、ここではアドレス変換情報を要求するためのメッセージである旨を示すコードが含まれる。41は予約領域で未使用、42は要求するアドレス変換情報の数、43は移動端末10のホームアドレスである。

【0056】

処理203のアドレス変換情報要求を受けたNAT18は、移動端末10についてのアドレス変換情報をNAT19へ返信する(処理204)。すなわち、移動端末10のホームアドレス(ここではプライベートアドレス)に対応づけられたグローバルアドレスを、図4に示したフォーマットを用いてNAT19へ送信する。次に、FA17からHA16に登録要求が行われ(処理205)、HA16からFA17に登録した旨の応答、即ち登録応答が返される(処理206)。さらに、FA17から移動端末10へ登録応答が返される(処理207)。

【0057】

以上のようにして、HA16およびFA17に移動端末10が登録され、またNAT19に移動端末10のアドレス変換情報が設定される。これにより、移動端末10から送信されたパケットの送信元アドレスは、ルータ13のNAT19において、ルータ12のNAT18と同一のグローバルアドレスに変換される。

【0058】

実施の形態3.

実施の形態2では、移動端末10からルータ13へ送信される登録要求をトリガとして、アドレス変換情報要求を行っていた。本実施の形態3では、NAT18からNAT19へ送信される登録応答をトリガとして、NAT19からNAT18へアドレス変換情報要求が行われるようにする。図7は、図1に示すネットワーク構成において、HA16からの登録応答をトリガとして、ルータ13のNAT19がルータ12のNAT18よりアドレス変換情報を取得するシーケンスを例示する説明図である。図7において、300~307は各処理である。

【0059】

図7の処理300において、移動端末10がホームネットワーク20からフォーリンネットワーク21へ移動する(処理300)。移動端末10はエージェント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク21へ移動したことを検出する(処理301)。移動を検出した移動端末10は、図19に示したフォーマットを用いてFA17に対して登録要求を行う(処理302)。登録要求を受けたFA17は登録後、さらにHA16に対して登録要求を行う(処理303)。FA17から登録要求を受けたHA16は登録後、登録した旨の応答、即ち登

録応答を F A 1 7 へ返信する（処理 3 0 4）。

【 0 0 6 0 】

ルータ 1 3 は、H A 1 6 から処理 3 0 4 の登録応答を受信すると、それをトリガとして、ルータ 1 2 の N A T 1 8 に対してアドレス変換情報要求を行う（処理 3 0 5）。さらに詳しくは、移動端末 1 0 についてのアドレス変換情報を要求するメッセージを図 6 に示したフォーマットを用いて送信する。この要求メッセージを受けた N A T 1 8 は、N A T 1 9 に対して図 4 に示したフォーマットを用いてアドレス変換情報を返信する（処理 3 0 6）。ルータ 1 3 の N A T 1 9 はこのアドレス変換情報の受信後、移動端末 1 0 に対して登録応答を返信する（処理 3 0 7）。

【 0 0 6 1 】

以上のように、H A（ホームエージェント）が登録応答を行った後にアドレス変換情報要求を行うことにより、登録失敗時にはアドレス変換情報要求を行う必要が無く、ネットワークに無駄なメッセージを送る必要がなくなる。

【 0 0 6 2 】

実施の形態 4.

本実施の形態 4 では、図 2 に示した処理 1 0 9 及び 1 1 0 の登録要求及び登録応答のメッセージ中に、図 6 に示したアドレス変換情報要求を付加する。図 8 は、図 1 に示すネットワーク構成において、登録要求メッセージ中にアドレス変換情報要求を付加し、登録応答メッセージ中にアドレス変換情報を付加することにより、ルータ 1 3 の N A T 1 9 がルータ 1 2 の N A T 1 8 よりアドレス変換情報を取得するシーケンスを例示する説明図である。

【 0 0 6 3 】

図 8 の処理 4 0 0 において、移動端末 1 0 がホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 へ移動する（処理 4 0 0）。移動端末 1 0 はエージェント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク 2 1 へ移動したことを検出する（処理 4 0 1）。移動を検出した移動端末 1 0 は、図 1 9 に示したフォーマットを用いて F A 1 7 に対して登録要求を行う（処理 4 0 2）。この登録要求を受けた F A 1 7 は登録後、H A 1 6 に対して拡張された登録要求を行う。さら

に詳しくは、F A 1 7 は、図 1 9 に示したフォーマットに図 6 に示したアドレス変換情報要求数 4 2 およびホームアドレス 4 3 を追加してなる拡張された登録要求メッセージを送信する（処理 4 0 3）。

【 0 0 6 4 】

処理 4 0 3 の拡張された登録要求を受けた H A 1 6 は、H A 1 7 に対して拡張された登録応答を返信する。さらに詳しくは、H A 1 6 は、図 2 0 に示したフォーマットに図 4 に示したアドレス変換情報数 3 2、ホームアドレス 3 3 および変換アドレス 3 4 を追加してなる拡張された登録応答メッセージを返信する（処理 4 0 4）。N A T 1 9 はこの拡張された登録応答を受けることにより、移動端末 1 0 についてのアドレス変換情報を得ることができる。その後、F A 1 7 から移動端末 1 0 に対して登録応答が返されることにより、登録が完了する（処理 4 0 5）。

【 0 0 6 5 】

以上のように、登録要求メッセージにアドレス変換情報要求メッセージを付加して送信することにより、登録要求からアドレス変換情報の取得完了までに要するメッセージの送信数および所要時間を削減することができる。

【 0 0 6 6 】

実施の形態 5.

実施の形態 1 では、ホームネットワーク 2 0 とフォーリンネットワーク 2 1 の双方が N A T を有した。本実施の形態 5 では、フォーリンネットワーク 2 1 が N A T を有さない場合であり、F A 1 7 が移動端末 1 0 に係るアドレス変換を行う場合について説明する。図 9 は本実施の形態 5 のネットワーク構成およびそのパケット転送経路を例示する説明図である。図 9 において図 1 と同一又は相当部分には同一符号を付して説明を省略する。

【 0 0 6 7 】

図 9 において、フォーリンネットワーク 2 1 はグローバルアドレスを用いたグローバルネットワークであり、ルータ 1 5 は I P ネットワーク 2 2 とフォーリンネットワーク 2 1 とを接続する。また、ホームネットワーク 2 0 はプライベートアドレスを用いたプライベートネットワークであり、ルータ 1 2 は I P ネットワ

ーク 2 2 とホームネットワーク 2 0 とを接続する。ルータ 1 5 は F A 1 7 の機能を有し、N A T 機能を有さない。ルータ 1 2 は H A 1 6 と N A T 1 8 の機能を有する。また、移動端末 1 0 のホームアドレスにはプライベートアドレス A が、相手端末 1 1 にはグローバルアドレス B が、ルータ 1 2 にはグローバルアドレス C が、ルータ 1 5 にはグローバルアドレス D が割り当てられる。

【 0 0 6 8 】

図 1 0 は、図 9 に示すネットワーク構成において、移動端末 1 0 が相手端末 1 1 と通信を行いながら、ホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 に移動した場合のシーケンスを例示する説明図である。図において、5 0 0 ～ 5 2 2 は各処理である。図 1 0 の処理 5 0 0 において、ホームネットワーク 2 0 に存在する移動端末 1 0 が、相手端末 1 1 にデータを送信するために、ルータ 1 2 に対してパケットを送信する（処理 5 0 0）。このパケットの宛先アドレスはグローバルアドレス B であり、送信元アドレスはプライベートアドレス A である。

【 0 0 6 9 】

この移動端末 1 0 からのパケットを受信したルータ 1 2 は、N A T 1 8 を用いて、受信したパケットの送信元アドレスをプライベートアドレス A から、ルータ 1 3 のグローバルアドレス C に変換する（処理 5 0 1）。そして、このアドレス変換されたパケットを相手端末 1 1 に送信する（処理 5 0 2）。相手端末 1 1 はこのパケットを受信し、宛先アドレスをルータ 1 2 のアドレス C、送信元アドレスを相手端末 1 1 のアドレス B としたパケットを返信する（処理 5 0 3）。この相手端末 1 1 からの返信パケットを受信したルータ 1 2 は、N A T 1 8 を用いて、この返信パケットの宛先アドレスをアドレス C から移動端末 1 0 のアドレス A に変換する（処理 5 0 4）。このアドレス変換されたパケットは移動端末 1 0 に送信される（処理 5 0 5）。このようにして、ホームネットワーク 2 0 に存在する移動端末 1 0 と I P ネットワーク上の相手端末 1 1 は通信を行う。

【 0 0 7 0 】

さらに、上記のような通信中に、移動端末 1 0 がホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 へ移動する（処理 5 0 6）。移動端末 1 0 はフォー

リンネットワーク 21 内でエージェント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク 21 へ移動したことを検出する（処理 507）。移動を検出した移動端末 10 は、図 19 に示したフォーマットで、FA17 に対して登録要求を行う（処理 508）。さらに FA17 から HA16 に登録要求が行われ（処理 509）、HA16 から FA17 に登録応答が返される（処理 510）。なお、図 20 に示したように、この登録応答には移動端末 10 のホームアドレスが含まれる。

【0071】

ここでは、移動端末 10 のホームアドレスがプライベートアドレスであるので、処理 510 の登録応答を受信した FA17 は、移動端末 10 に関するアドレス変換情報が必要と判断する（処理 511）。そこで FA17 は、移動端末 10 についてのアドレス変換情報を要求するメッセージを、図 6 に示すフォーマットで NAT18 へ送信する（処理 512）。NAT18 は、この処理 512 の要求メッセージに対する応答として、移動端末 10 のアドレス変換情報を、図 4 に示すフォーマットで FA17 に返信する（処理 513）。FA17 は、この返信の受信後、移動端末 10 へ登録応答を送信する（処理 514）。これにより登録が完了し、また FA17 に移動端末 10 のアドレス変換情報が設定される。

【0072】

次に、フォーリンネットワーク 21 内の移動端末 10 から相手端末 11 へデータが送信される場合について説明する。フォーリンネットワーク 21 に存在する移動端末 10 は、相手端末 11 にデータを送信するために、ルータ 15 に対してパケットを送信する（処理 515）。このパケットの宛先アドレスはグローバルアドレス B であり、送信元アドレスはプライベートアドレス A である。この移動端末 10 からのパケットを受信したルータ 15 は、FA17 にて、受信したパケットの送信元アドレスを、上記処理 513 で得たアドレス変換情報を元に、プライベートアドレス A から、グローバルアドレス C に変換する（処理 516）。このアドレス変換されたパケットは、相手端末 11 へ送信される（処理 517）。

【0073】

相手端末 11 はこのパケットを受け、移動端末 10 への返信パケットとして、

受信パケットの送信元アドレスであるアドレスCを宛先アドレスとしたパケットを送信する（処理518）。ルータ12のNAT18は、この相手端末11からの返信パケットの宛先アドレスを、ルータ12のアドレスCから、移動端末10のアドレスAに変換し、更にHA16にて、宛先アドレスをルータ15のアドレスD、送信元アドレスをルータ12のアドレスCに設定し、IPカプセル化する（処理519）。このIPカプセル化されたパケットは、ルータ15のFA17までトンネリングされる（処理520）。ルータ15のFA17は、トンネリングされてきたパケットをデカプセル化する（処理521）。そして、デカプセル化によって得られたパケットを移動端末10へ送信する（処理522）。このようにして、フォーリンネットワーク21に存在する移動端末10とIPネットワーク上の相手端末11は、通信することができる。

【0074】

以上のように、フォーリンネットワーク内にNATが存在しない場合には、FA（フォーリンエージェント）が移動端末の送受パケットのアドレス変換を行うので、当該フォーリンネットワーク内においても移動端末は通信を継続することができる。すなわち、ホームネットワークがプライベートネットワークであり、移動先のフォーリンネットワークがグローバルネットワークであっても、通信を継続することができる。

【0075】

実施の形態6.

実施の形態5では、FA17が移動端末10に係るアドレス変換を行った。本実施の形態6では、移動端末10自身がアドレス変換を行う。また、移動端末10はFA17から送信される登録応答をトリガとして、アドレス変換情報を取得する。図11は、図9に示したネットワーク構成において、移動端末10自身が登録応答をトリガとして、ルータ12のNAT18よりアドレス変換情報を取得するシーケンスを示すものである。

【0076】

図11の処理600において、移動端末10はホームネットワーク20からフォーリンネットワーク21へ移動する（処理600）。移動端末10はエージェ

ント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク21へ移動したことを検出する(処理601)。移動を検出した移動端末10は、図18に示したフォーマットで、FA17に対して登録要求を行う(処理602)。FA17は登録後、さらにHA16に対して登録要求を行う(処理603)。HA16は登録後、FA17へ登録応答を返信する(処理604)。FA17は登録応答をうけて、さらに移動端末10へ登録応答を送信する(処理605)。このようにして登録が完了する。

【0077】

FA17より登録応答をうけた移動端末10は、これをトリガとして、自己のアドレス変換情報を要求するメッセージを、図6に示したフォーマットでNAT18に対して送信する(処理606)。NAT18はこの要求メッセージへの返信として、移動端末10のアドレス変換情報を図4に示したフォーマットで移動端末10へ送信する(処理607)。移動端末10はこの返信を受け、自己のアドレス変換情報を知る。

【0078】

次に、フォーリンネットワーク21内の移動端末10から相手端末11へデータが送信される場合について説明する。処理608において、移動端末10は相手端末11へ送信するためのパケットデータを生成する。ここで生成されるパケットの送信元アドレスは、移動端末10のプライベートアドレスAではなく、上記アドレス変換情報によりプライベートアドレスAに対応づけられたグローバルアドレスCに設定される。生成されたパケットは送信され、相手端末11により受信される(処理609)。相手端末11は、この受信したパケットに対する返信として、受信したパケットの送信元アドレスであるアドレスCを宛先アドレスとしてパケットを送信する(処理610)。このアドレスCを宛先アドレスとしたパケットは、ルータ12により受信される。ルータ12はこの受信パケットの宛先アドレスを、NAT18を用いてグローバルアドレスCからプライベートアドレスAに変換する(処理611)。また、ルータ12のHA16は、移動端末10がFA17の管理ネットワーク下にあることを、処理603の登録要求により認識しており、当該アドレス変換後のパケットをIPカプセル化して(処理6

1 1)、ルータ 1 5 の F A 1 7 へトンネリング転送する(処理 6 1 2)。ルータ 1 5 の F A 1 7 は、このトンネリング転送されてきたパケットをデカプセル化し、宛先アドレスがプライベートアドレス A である元のパケットを得る(処理 6 1 3)。このデカプセル化して得られた元のパケットは、移動端末 1 0 へ送信される(処理 6 1 4)。

【0079】

このようにして、フォーリンネットワーク 2 1 に存在する移動端末 1 0 と I P ネットワーク上の相手端末 1 1 は、通信することができる。特にプライベートアドレスが割り当てられた移動端末自身がアドレス変換情報を得ることにより、F A (フォーリンエージェント) になるべく機能を追加することなく、グローバルネットワークであるフォーリンネットワークにおいて、通信を行うことができる。

【0080】

実施の形態 7.

実施の形態 6 では、登録応答をトリガとして移動端末 1 0 がアドレス変換情報を取得した。本実施の形態 7 では、移動端末 1 0 から F A 1 7 へ送信される登録要求、F A 1 7 から H A 1 6 へ送信される登録要求、H A 1 6 から F A 1 7 へ送信される登録応答および F A 1 7 から移動端末 1 0 へ送信される登録応答をそれぞれ拡張することにより、移動端末 1 0 がアドレス変換情報を取得する。

【0081】

図 1 2 は、図 9 に示すネットワーク構成において、登録要求メッセージにアドレス変換情報要求を付加し、登録応答メッセージにアドレス変換情報を付加することにより、移動端末 1 0 が、ルータ 1 2 の N A T 1 8 よりアドレス変換情報を取得するシーケンスを示すものである。図の処理 7 0 0 において、移動端末 1 0 はホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 へ移動する(処理 7 0 0)。移動端末 1 0 はエージェント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク 2 1 へ移動したことを検出する(処理 7 0 1)。

【0082】

処理 7 0 1 で移動を検出した移動端末 1 0 は、F A 1 7 に対して自己のアドレ

ス変換情報を要求するように拡張された登録要求を行う（処理 7 0 2）。さらに詳しくは、図 1 9 に示したフォーマットに図 6 に示したアドレス変換情報要求数 4 2 およびホームアドレス 4 3 を追加してなる拡張された登録要求メッセージを F A 1 7 へ送信する。F A 1 7 は、この拡張された登録要求メッセージを受信して所定の登録を行い、該メッセージをルータ 1 2 に対して送信する（処理 7 0 3）。ルータ 1 2 はこのメッセージを受信して H A 1 6 において所定の登録を行うとともに、移動端末 1 0 についてのアドレス変換情報を含めることにより拡張した登録応答を、F A 1 7 に対して送信する（処理 7 0 4）。さらに詳しくは、図 2 0 に示したフォーマットに図 4 に示したアドレス変換情報 3 2、ホームアドレス 3 3 および変換アドレス 3 4 を追加してなる拡張された登録応答メッセージを F A 1 7 へ返信する。この拡張された登録応答メッセージは、さらに F A 1 7 から移動端末 1 0 へ送信される（処理 7 0 5）。これにより登録が完了し、また移動端末 1 0 に該移動端末 1 0 についてのアドレス変換情報が設定される。

【 0 0 8 3 】

以上のように、登録要求メッセージにアドレス変換情報要求メッセージを付加して送信することにより、登録要求からアドレス変換情報の取得完了までに要するメッセージの送信数および所要時間を削減することができる。

【 0 0 8 4 】

実施の形態 8.

実施の形態 1 では、ホームネットワーク 2 0 とフォーリンネットワーク 2 1 の双方が N A T を有した。本実施の形態 8 では、ホームネットワーク 2 0 が N A T を有さず、フォーリンネットワーク 2 1 が N A T を有する場合について説明する。なお、ここでは移動端末 1 0 に対してグローバルアドレスが割り当てられる。図 1 3 は本実施の形態 8 のネットワーク構成およびそのパケット転送経路を例示する説明図である。図 1 3 において図 1 と同一又は相当部分には同一符号を付して説明を省略する。

【 0 0 8 5 】

図 1 3 では、ホームネットワーク 2 0 がグローバルアドレスを用いたグローバルネットワークであり、ルータ 1 4 は N A T 機能を有さない。さらに詳しくは、

ルータ 1 4 は、H A 1 6 の機能を有し、I P ネットワーク 2 2 とホームネットワーク 2 0 とを接続する。また、フォーリンネットワーク 2 1 はプライベートアドレスを用いたプライベートネットワークである。ルータ 1 5 は F A 1 7 と N A T 1 9 の機能を有し、I P ネットワーク 2 2 とフォーリンネットワーク 2 1 とを接続する。移動端末 1 0 のホームアドレスにはグローバルアドレス A が、相手端末 1 1 にはグローバルアドレス B が、ルータ 1 4 にはグローバルアドレス C が、ルータ 1 3 にはグローバルアドレス D がそれぞれ割り当てられる。

【 0 0 8 6 】

図 1 4 は、図 1 3 に示すネットワーク構成において、移動端末 1 0 が相手端末 1 1 と通信を行いながら、ホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 に移動した場合のシーケンスを例示する説明図である。図において、8 0 0 ～ 8 1 8 は各処理である。図 1 4 の処理 8 0 0 において、ホームネットワーク 2 0 に存在する移動端末 1 0 が、相手端末 1 1 にデータを送信するために、ルータ 1 4 に対してパケットを送信する。このパケットの宛先アドレスはグローバルアドレス B であり、送信元アドレスはグローバルアドレス A である。ルータ 1 4 はこのパケットを受信し、相手端末 1 1 へ送信する（処理 8 0 1）。相手端末 1 1 はこのルータ 1 4 からのパケットに対する返信として、当該受信パケットの送信元アドレスであるグローバルアドレス A を宛先アドレスとしたパケットを送信する（処理 8 0 2）。このパケットはルータ 1 4 に受信され（処理 8 0 2）、ルータ 1 4 から相手端末 1 1 へ送信される（処理 8 0 3）。このようにして、ホームネットワーク 2 0 に存在する移動端末 1 0 と I P ネットワーク上の相手端末 1 1 は通信を行う。

【 0 0 8 7 】

上記のような通信中に、移動端末 1 0 がホームネットワーク 2 0 からフォーリンネットワーク 2 1 へ移動する（処理 8 0 4）。移動端末 1 0 はエージェント広告を受信することにより、フォーリンネットワーク 2 1 へ移動したことを検出する（処理 8 0 5）。移動を検出した移動端末 1 0 は、図 1 9 に示したフォーマットを用いてルータ 1 3 の F A 1 7 に対して登録要求を行う（処理 8 0 6）。F A 1 7 はこの登録要求をうけて、H A 1 6 に対してさらに同様の登録要求を行う（

処理 8 0 7)。H A 1 6はこの登録要求に対して図 2 0に示したフォーマットを用いて登録応答を返信する(処理 8 0 8)。この返信に含まれた移動端末 1 0のホームアドレスより、F A 1 7は移動端末 1 0にグローバルアドレスが割り当てられていることを知ることができる。即ち、ホームネットワーク 2 0ではN A Tによるアドレス変換が行われておらず、移動端末 1 0からのパケットに対するアドレス変換は不要である旨を知る。

【 0 0 8 8 】

移動端末 1 0のホームアドレス Aについてアドレス変換が不要であることを知ったルータ 1 3のF A 1 7は、それをアドレス不変換リストに登録する(処理 8 0 9)。アドレス不変換リストとは、ルータ 1 3のN A T 1 9がアドレス変換を行わない I Pアドレスを登録するためのリストである。図 1 5は、アドレス不変換リストを例示する説明図である。ここではアドレス Aが登録され、N A T 1 9はこのリストに登録されたアドレス Aに対してはN A T変換を行わない。その後、F A 1 7から移動端末 1 0に対して登録応答が返され、登録が完了する(処理 8 1 0)。

【 0 0 8 9 】

次に、フォーリンネットワーク 2 1内の移動端末 1 0から相手端末 1 1へデータが送信される場合について説明する。処理 8 1 1においては、フォーリンネットワーク 2 1に存在する移動端末 1 0が、相手端末 1 1にデータを送信するために、ルータ 1 3に対してパケットを送信する(処理 8 1 1)。このパケットの宛先アドレスはグローバルアドレス Bであり、送信元アドレスはグローバルアドレス Aである。移動端末 1 0からのパケットを受信したルータ 1 3のN A T 1 8は、図 1 5に示したアドレス不変換リストに基づき、グローバルアドレス Aについてアドレス変換しないこととする(処理 8 1 2)。アドレス変換されなかったパケットは I Pネットワーク 2 2上へ送出され、相手端末 1 1によって受信される(処理 8 1 3)。

【 0 0 9 0 】

相手端末 1 1は、移動端末 1 0にパケットを送信する為、宛先アドレスとして、先ほど受信したパケットの送信元アドレスであるアドレス Aを設定して、パケッ

トを送信する（処理 8 1 4）。相手端末 1 1 からのパケットを受信したルータ 1 4 の H A 1 6 は、宛先アドレスをルータ 1 3 のアドレス D、送信元アドレスをルータ 1 4 のアドレス C に設定し、I P カプセル化する（処理 8 1 5）。この I P カプセル化されたパケットはルータ 1 3 の F A 1 7 までトンネリングされる（処理 8 1 6）。ルータ 1 3 の F A 1 7 は、トンネリングされてきた当該パケットを、デカプセル化する一方、上記アドレス不変換リストに基づき N A T 1 9 によるアドレス変換は行わない（処理 8 1 7）。そして、このデカプセル化されたパケットは移動端末 1 0 に送信される（処理 8 1 8）。このようにして、フォーリンネットワーク 2 1 に存在する移動端末 1 0 と I P ネットワーク上の相手端末 1 1 は、通信することができる。

【 0 0 9 1 】

以上、図 1 のルータ 1 2、H A 1 6、N A T 1 8 に割り当てられるグローバルアドレスを単一のアドレス C として説明したが、それぞれに異なるグローバルアドレスを割り当てるようにしてもよい。同様に、ルータ 1 3、F A 1 7、N A T 1 9 それぞれに異なるグローバルアドレスを割り当てるようにしてもよい。

【 0 0 9 2 】

【発明の効果】

この発明は以上説明したように構成されているので、以下に示すような効果を奏する。この発明に係る通信方法においては、異なるネットワーク間で移動可能な端末が、前記いずれのネットワーク間でパケット送信を行う際にも、該端末が送出するパケットの送信元アドレスを同一のグローバルアドレスに変更するので、端末がネットワーク間を移動しても、通信を継続することができる。

【 0 0 9 3 】

また、この発明に係る通信方法においては、端末から送出されるパケットの送信元アドレスをグローバルアドレスに変更する第 1 のアドレス変更手段を第 1 のネットワークに備えるとともに、第 2 のネットワークに第 2 のアドレス変更手段を備え、第 2 のアドレス変更手段は、第 1 のネットワークから第 2 のネットワークに前記端末が移動した場合に、前記端末から送出されるパケットの送信元アドレスを、前記グローバルアドレスと同一のアドレスに変更するので、端末がネッ

トワーク間を移動しても、通信を継続することができる。

【 0 0 9 4 】

また、この発明に係る通信方法においては、第2のアドレス変更手段は、前記端末から第2のネットワークのモバイルIPエージェントに対して登録要求が送信されたことを検出し、その検出後に第1のアドレス変更手段から前記グローバルアドレスを取得するので、端末がネットワーク間を移動しても、通信を継続することができる。

【 0 0 9 5 】

また、この発明に係る通信方法においては、第2のアドレス変更手段は、第1のネットワークのモバイルIPエージェントから第2のネットワークのモバイルIPエージェントに対して登録応答が送信されたことを検出し、その検出後に第1のアドレス変更手段から前記グローバルアドレスを取得するので、登録失敗時にはアドレス変換情報の要求を行う必要が無く、ネットワークに無駄なメッセージを送る必要がなくなる。

【 0 0 9 6 】

また、この発明に係る通信方法においては、第2のアドレス変更手段は、第2のネットワークのモバイルIPエージェントから第1のネットワークのモバイルIPエージェントに対して送信されるパケットに、前記グローバルアドレスを要求するコードを付加するので、登録からアドレス変換情報の取得完了までにおいて、必要となるメッセージ数を削減することができると共に、時間も削減することができる。

【 0 0 9 7 】

また、この発明に係る通信方法においては、端末から送出されるパケットの送信元アドレスをプライベートアドレスからグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段を第1のネットワークに備え、前記端末は、第1のネットワーク内では、前記プライベートアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出し、第2のネットワーク内では、前記グローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出するので、移動元のネットワークがプライベートネットワークであり、移動先のネットワークがグローバルネットワークであっても、通信を継続するこ

とができる。

【0098】

また、この発明に係る通信方法においては、前記端末は、第2のネットワークのモバイルIPエージェントへ送信する登録要求のパケットに、前記グローバルアドレスを要求するコードを付加してなるパケットを送出することにより、第1のネットワークの前記アドレス変更手段に対して前記グローバルアドレスを要求するので、登録からアドレス変換情報の取得完了までにおいて、必要となるパケット数を削減することができると共に、時間も削減することができる。

【0099】

また、この発明に係る通信方法においては、端末から送出されるパケットの送信元アドレスを第1のグローバルアドレスに変更するアドレス変更手段を第1のネットワークに備え、第2のネットワークから第1のネットワークに、第2のグローバルアドレスを送信元アドレスとしたパケットを送出する端末が移動してきた場合に、第1のネットワークの前記アドレス変更手段は、前記移動してきた端末から送出されるパケットについては、その送信元アドレスを第1のグローバルアドレスに変更しないので、移動元のネットワークがグローバルネットワークであり、移動先のネットワークがプライベートワークであっても、通信を継続することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1における、通信システムを例示する構成図である。

【図2】 この発明の実施の形態1における、登録及びデータ転送のシーケンスを例示する図である。

【図3】 この発明の実施の形態1における、アドレス変換情報を例示する図である。

【図4】 この発明の実施の形態1における、アドレス変換情報を通知するメッセージフォーマットを例示する図である。

【図5】 この発明の実施の形態2における、シーケンスを例示する図である。

【図 6】 この発明の実施の形態 2 における、アドレス変換情報を要求するメッセージフォーマットを例示する図である。

【図 7】 この発明の実施の形態 3 における、シーケンスを例示する図である。

【図 8】 この発明の実施の形態 4 における、シーケンスを例示する図である。

【図 9】 この発明の実施の形態 5 における、通信システムを例示する構成図である。

【図 1 0】 この発明の実施の形態 5 における、シーケンスを例示する図である。

【図 1 1】 この発明の実施の形態 6 における、シーケンスを例示する図である。

【図 1 2】 この発明の実施の形態 7 における、シーケンスを例示する図である。

【図 1 3】 この発明の実施の形態 8 における、通信システムを例示する構成図である。

【図 1 4】 この発明の実施の形態 8 における、シーケンスを例示する図である。。

【図 1 5】 この発明の実施の形態 8 における、アドレス変換を行わないアドレスのリストを例示する図である。

【図 1 6】 従来通信システムを例示する構成図である。

【図 1 7】 従来通信システムにおける、シーケンスを例示する図である。

【図 1 8】 Mobile IP における Agent 広告メッセージフォーマットを例示する図である。

【図 1 9】 Mobile IP における登録要求メッセージのフォーマットを例示する図である。

【図 2 0】 Mobile IP における登録応答メッセージフォーマットを例示する図である。

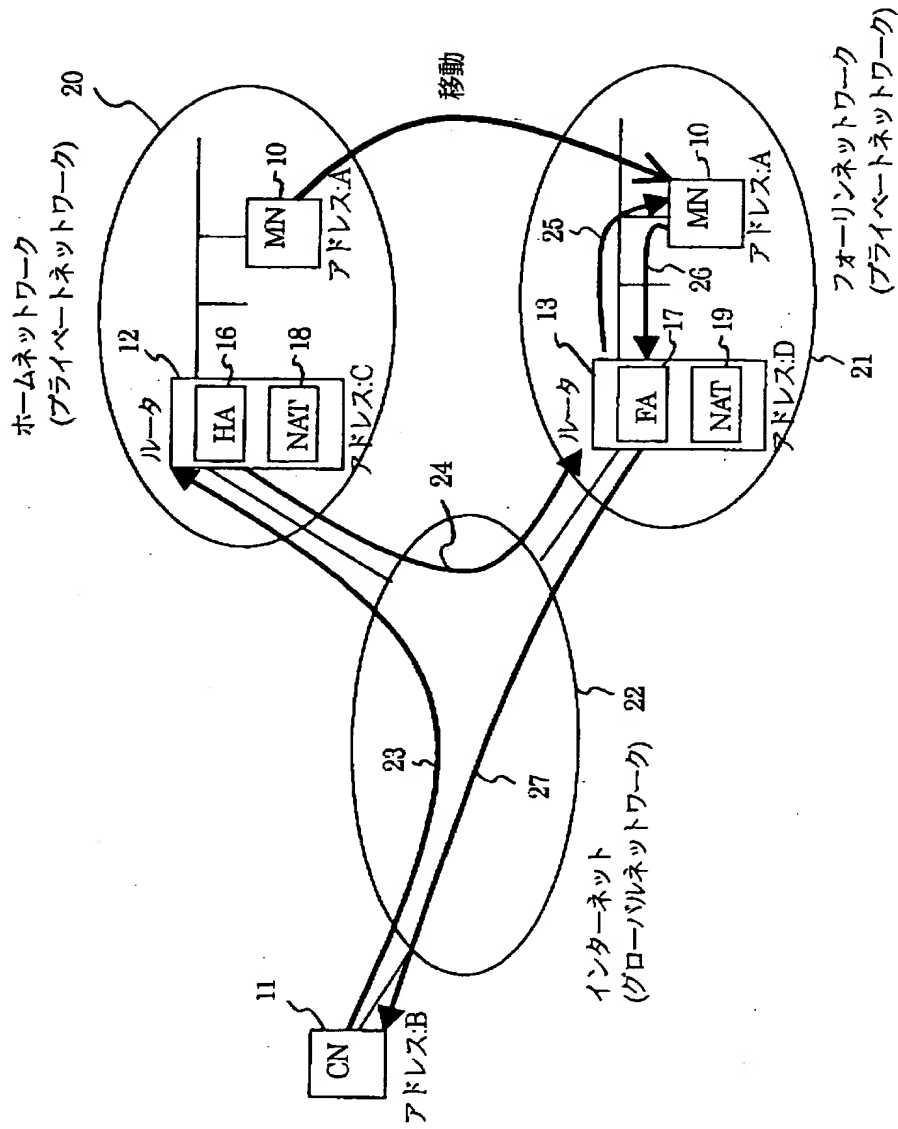
【符号の説明】

10, 11 移動端末、12~15 ルータ、16 HA、17 FA、18 NAT、19 NAT、20 ホームネットワーク、21 フォーリンネットワーク、22 IPネットワーク、33 ホームアドレス、34 変換後アドレス。

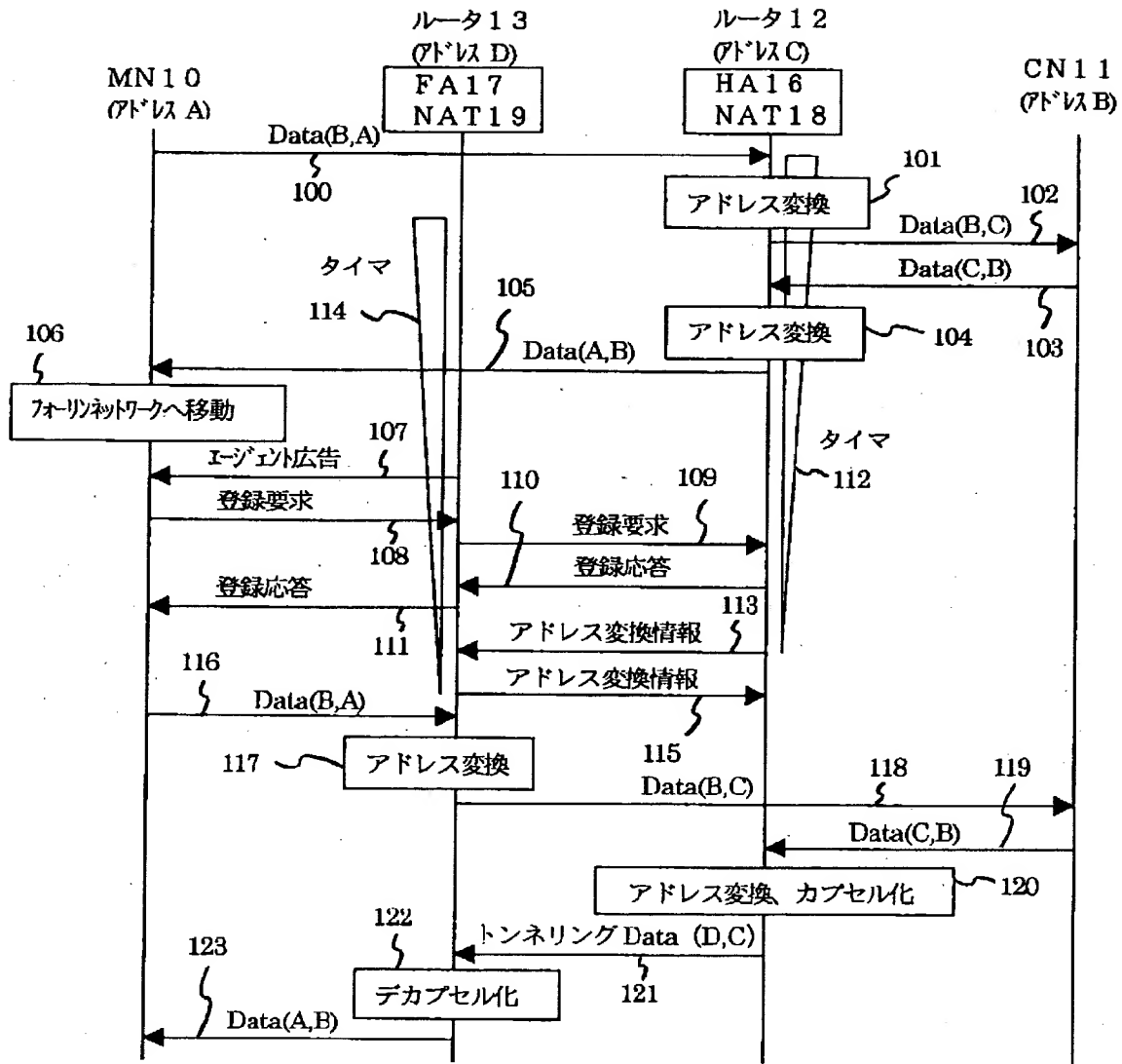
【書類名】

図面

【図 1】



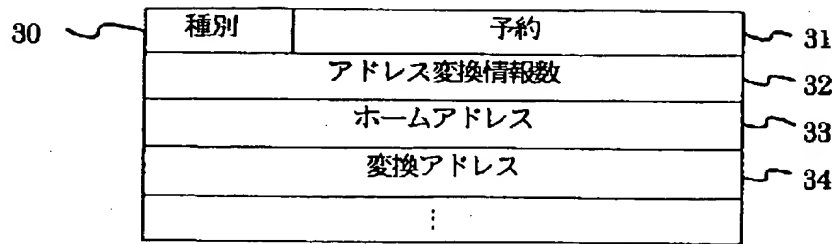
【図 2】



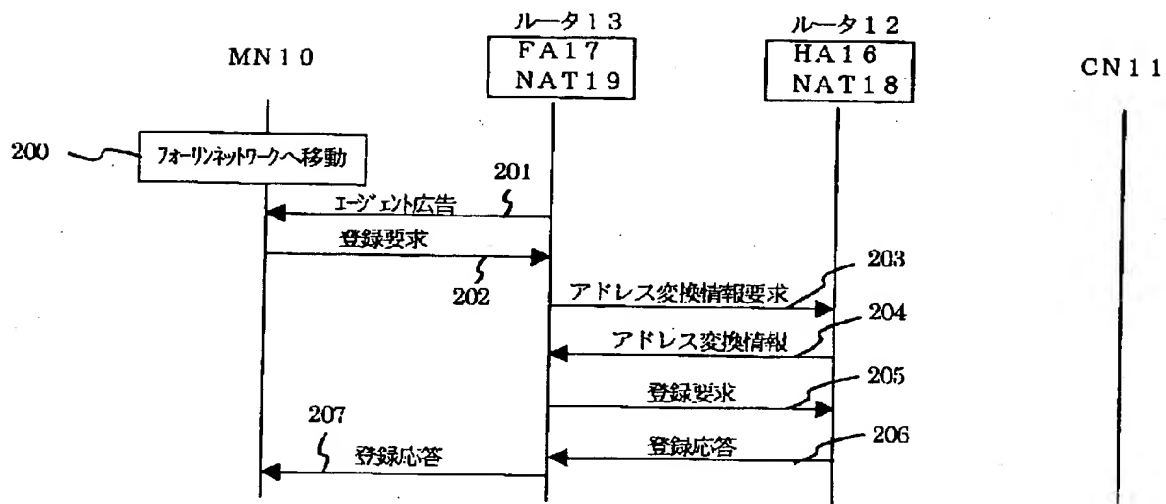
【図 3】

ホームアドレス	変換アドレス
A	C
⋮	⋮

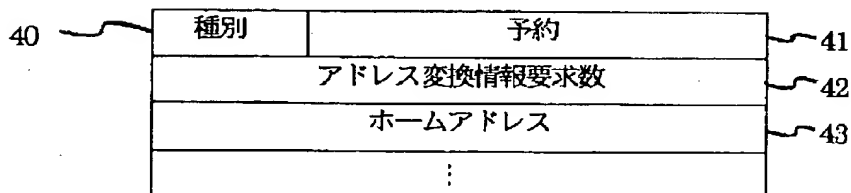
【図 4】



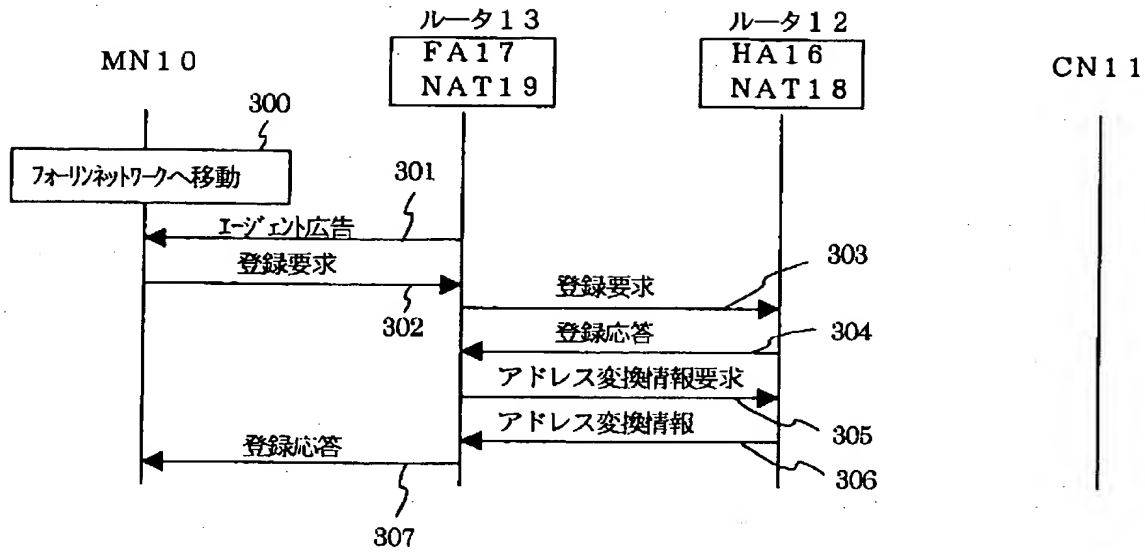
【図 5】



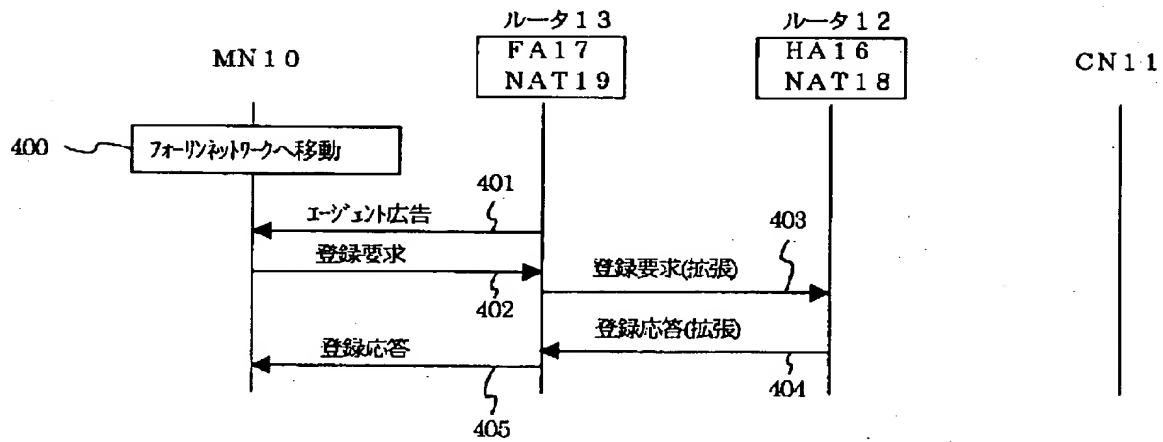
【図 6】



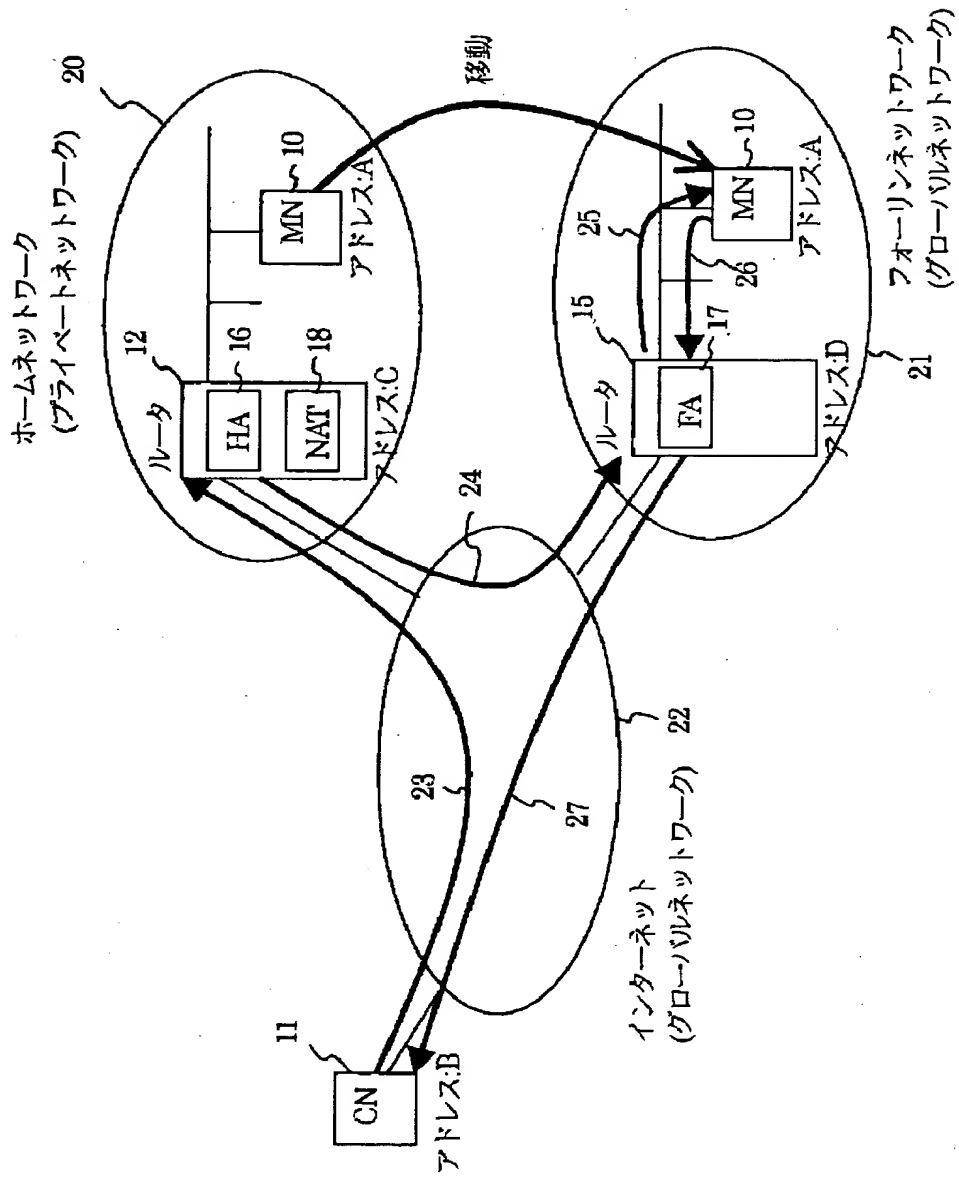
【図 7】



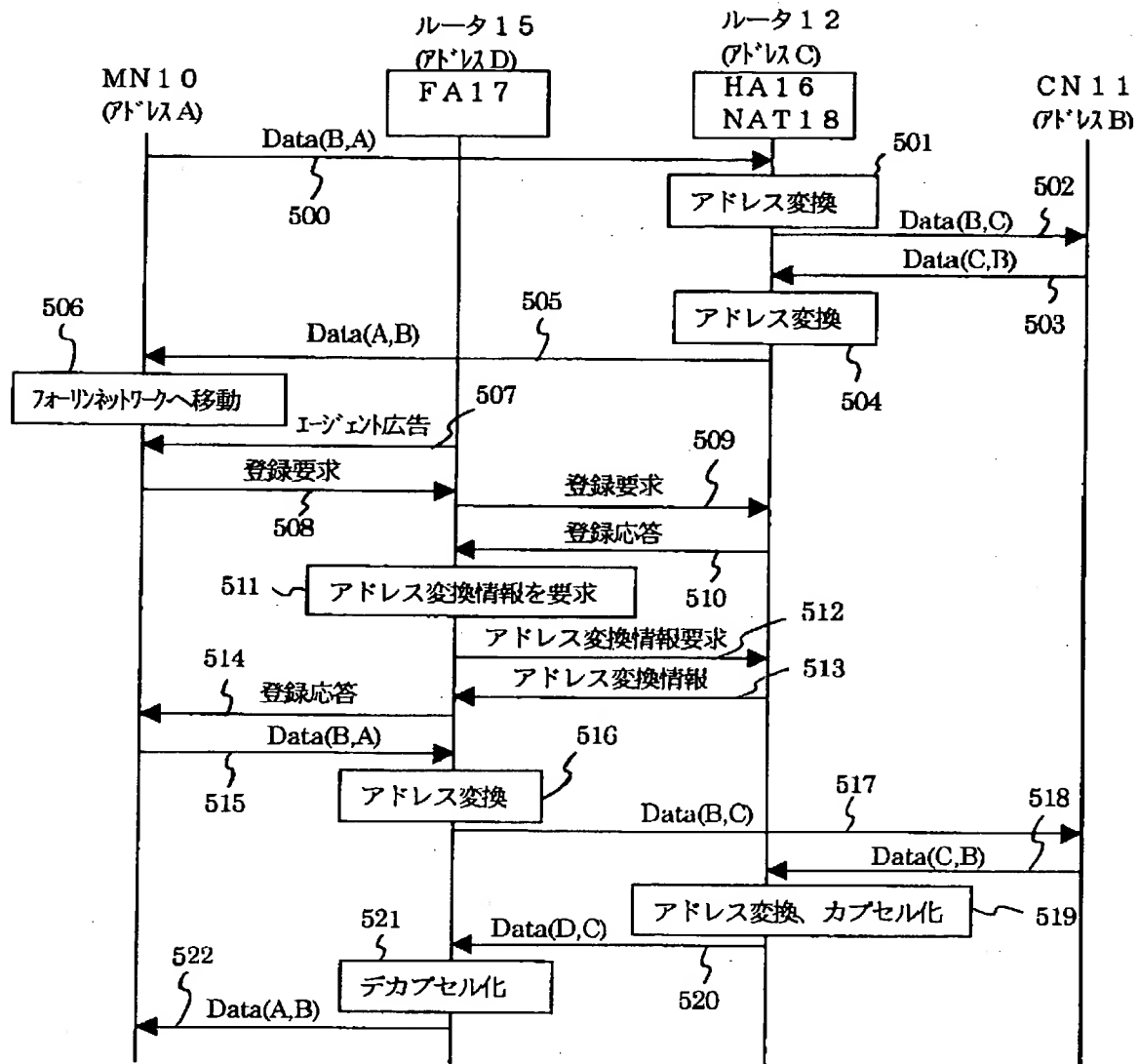
【図 8】



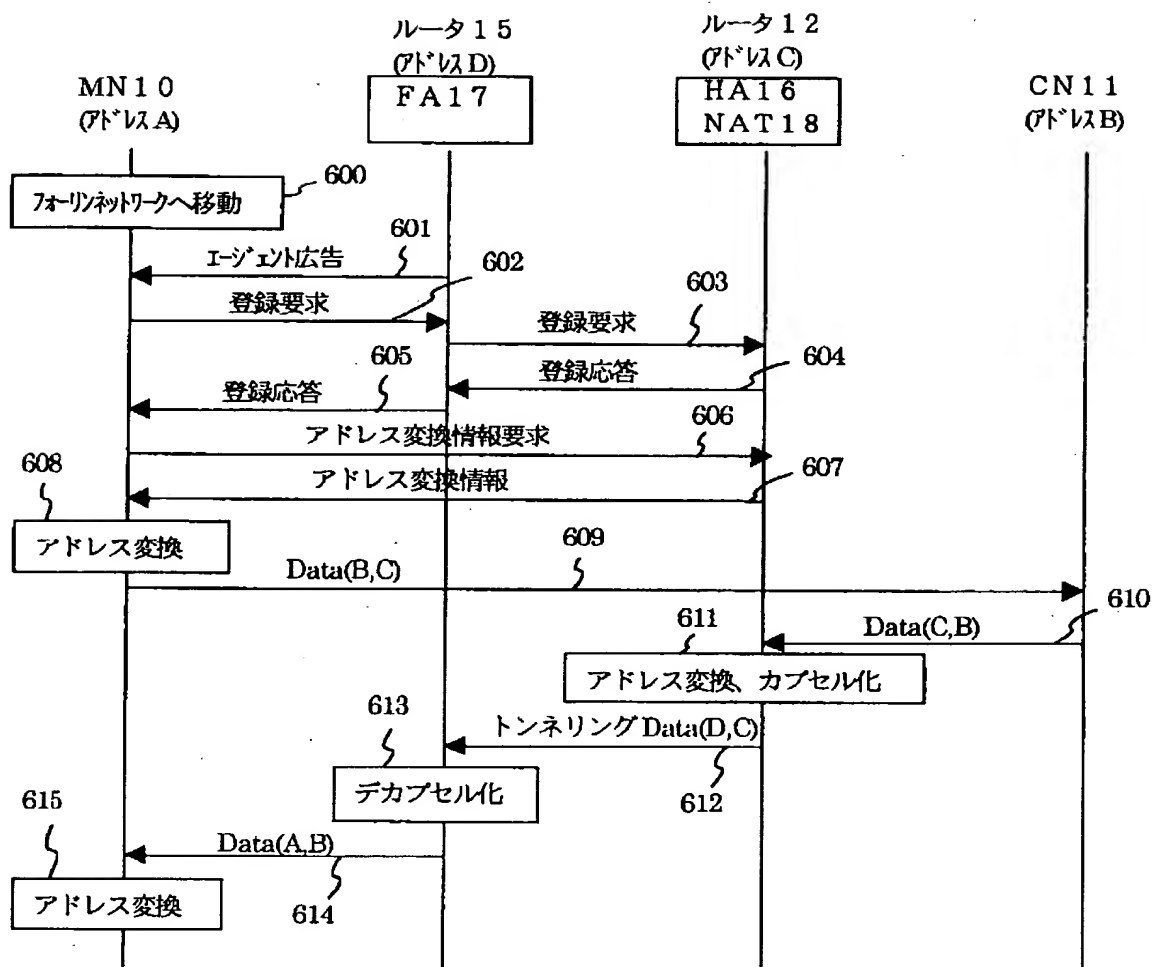
【図9】



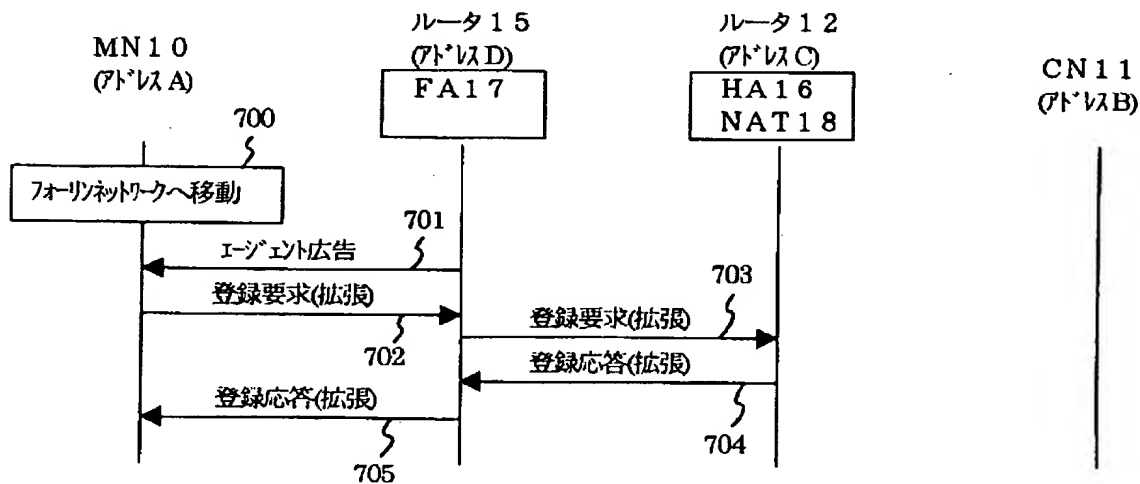
【図 10】



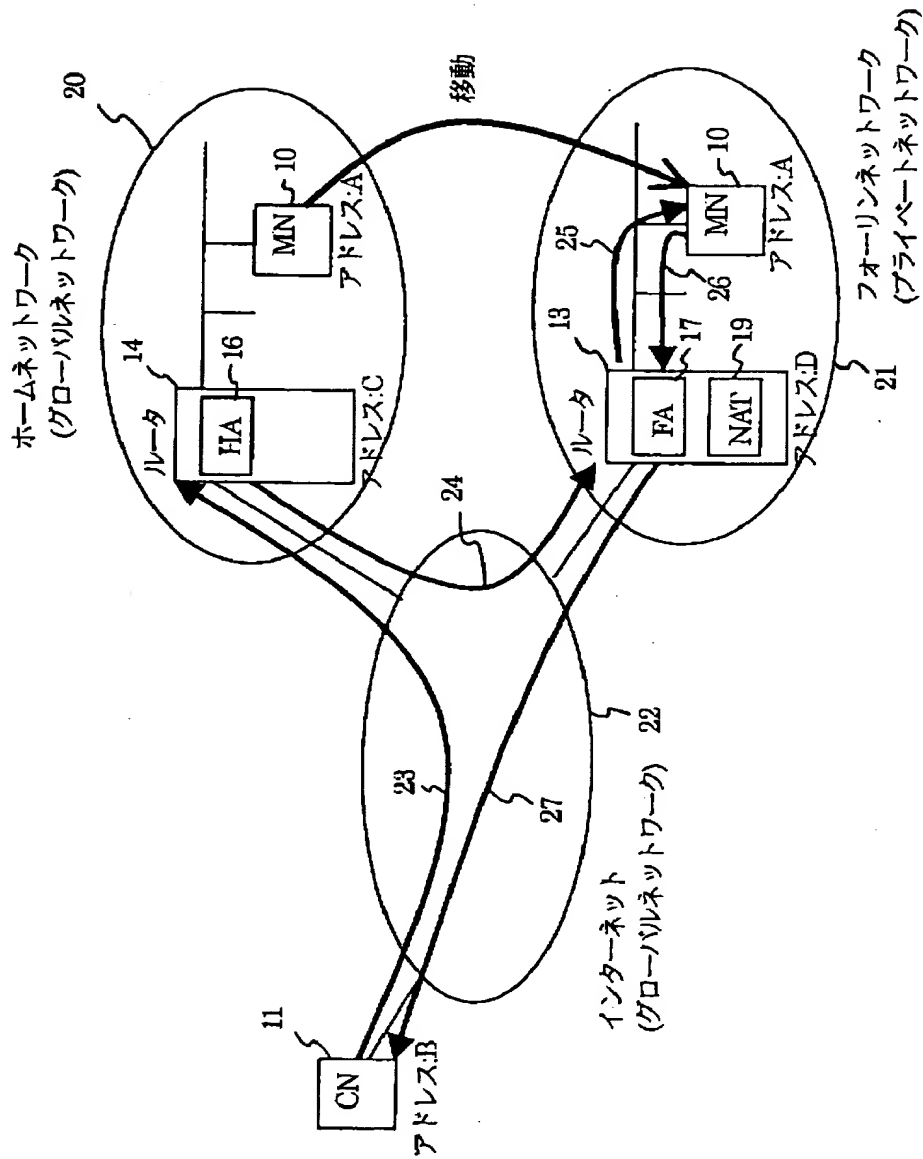
【図 1 1】



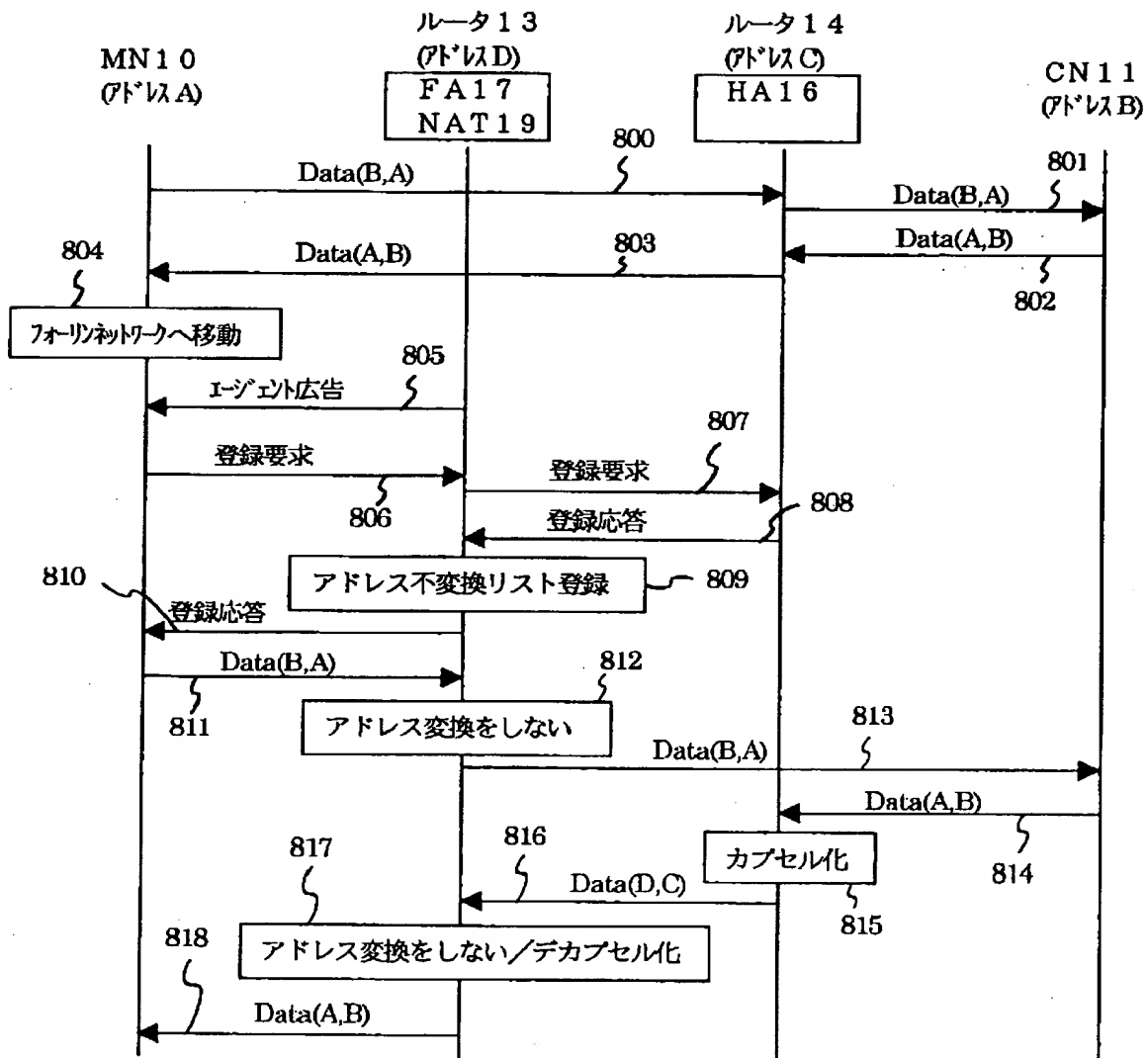
【図 1 2】



【图 1 3】



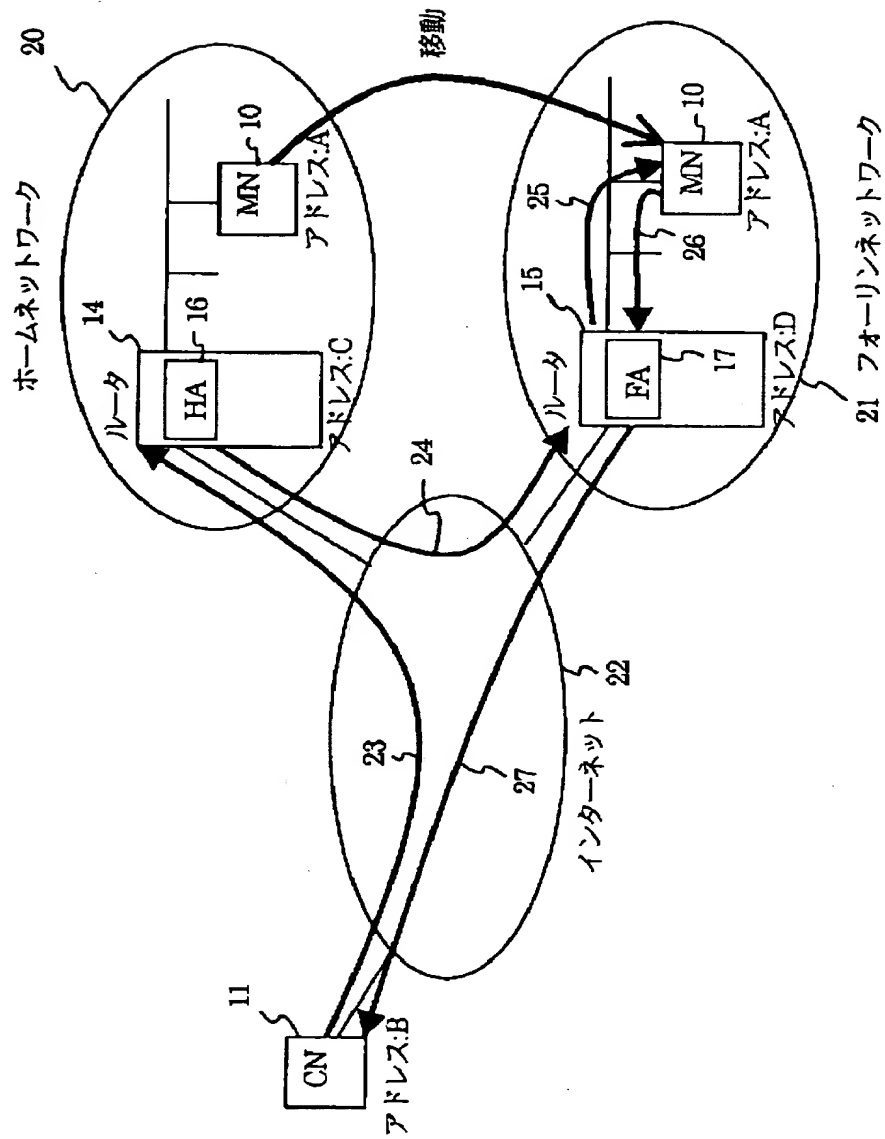
【図 1.4】



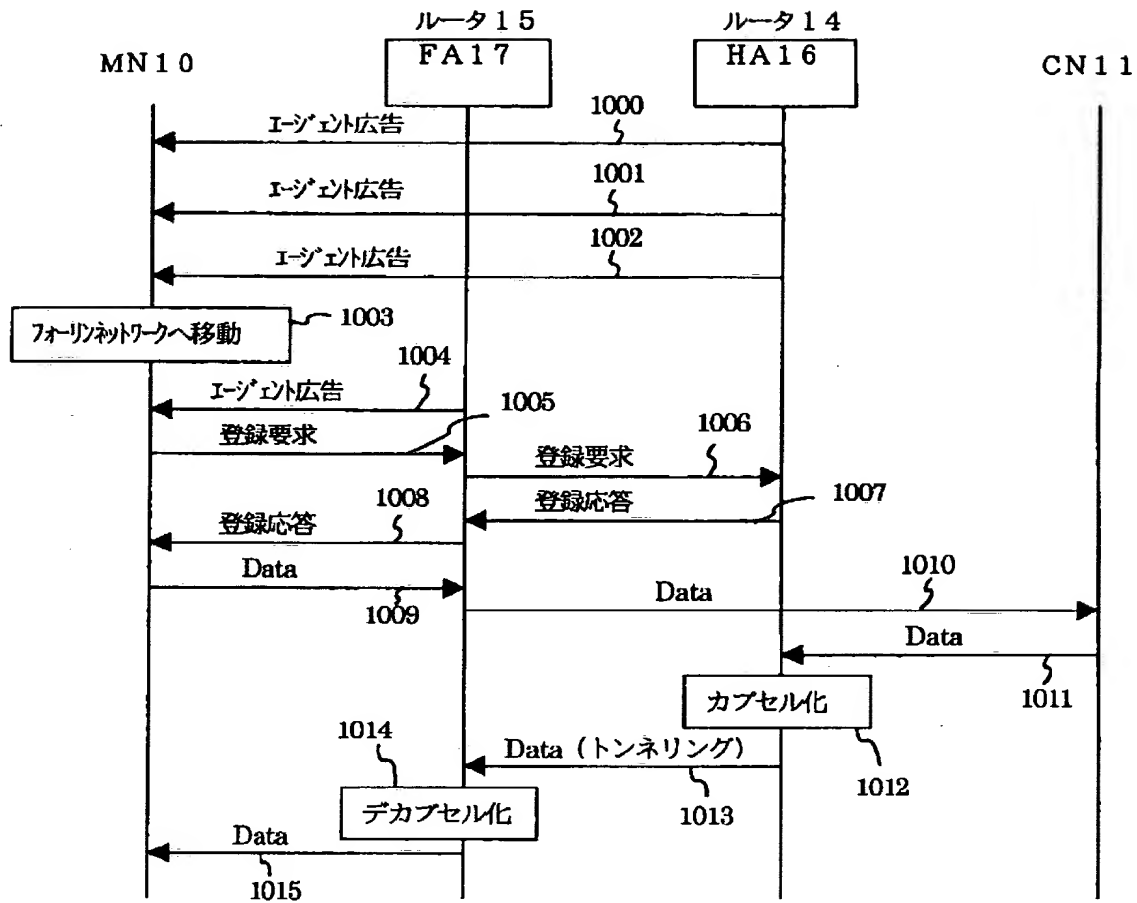
【図 1.5】

アドレス不変換リスト	
A	
⋮	

【図16】



【図 1 7】



【図 1 8】

Type (種別)	Length	Sequence Number				
Registration Life Time		R	B	H	F	M
Zero or Care-of Address(フォーリンエージェントのアドレス: 宛付アドレス)				G	V	Reserved

【図 1 9】

Type (種別)	S	B	D	M	G	V	Rsv	Lifetime
Home Address(ホームアドレス)								
Home Agent(ホームエージェントのアドレス)								
Care-of Address(フォールンエージェントのアドレス: 宛付アドレス)								
Identification								
拡張...								

【図 20】

Type (種別)	Code	Lifetime
HomeAddress (ホームアドレス)		
HomeAgent (ホームエージェントのアドレス)		
Identification		
拡張...		

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 移動端末がN A Tを用いたネットワーク間を移動しても、それにより通信が途絶しない通信方法等を提供する。

【解決手段】 異なるネットワーク間で移動可能な端末が、前記いずれのネットワーク間でパケット送信を行う際にも、該端末が送出するパケットの送信元アドレスを同一のグローバルアドレスに変更する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006013]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
氏 名	三菱電機株式会社